

## 令和2年度 事業説明書（新規事業等分抽出資料）

「令和2年度 事業説明書」から新規事業等を抽出し、さらに詳しく説明を加えた資料となっております。

### 目次

ページ	所 属	事業NO／事業名
P1～	総務課	242 消防施設経費 1422 ICT化推進事業
P5～	企画政策課	38 公共交通対策事業 1330 地域づくり事業
P9～	商工観光課	210 商工業の振興 215 観光振興事業 217 一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業 414 関係人口創出事業
P18	農林水産課	1430 森林環境譲与税関連事業
P20～	すこやか健康課	107 健康教育 1256 健康寿命延伸事業（地方創生）
P24～	子育て応援課	576 放課後健全育成事業 1198 子ども子育て支援事業
P27～	建設環境課	120 リサイクル推進事業
P29～	教育総務課	245 教育委員会事務局費 1484 琴浦町未来人材奨学金返還支援事業 262 一般教育振興費(配分外) 280 一般教育振興費(配分外)
P38～	社会教育課	325 生涯学習センター管理費 1440 特別史跡斎尾廃寺跡指定地買上事業 329 図書館活動費 1483 スポーツ・運動推進事業

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	242	事業名	消防施設経費		事業区分	□新規 ■継続			
担当課	総務課	担当係	消防・防災係						
総合計画	基本理念	安全で安心して暮らせるまち			基本テーマ	だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根付く		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり			重点項目			
	施策	2	安心・安全で暮らせるまちづくり			施策			
予算区分	款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設経費
事業期間	開始	平成16年度		終了	-		実施主体	□琴浦町 ■その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	24,537		700		8,300	15,537	
正職員人件費	1,954	前年度		人件費/人(千円)	6,513	正職員	0.3
会計年度職員人件費	0	前年度				会計年度職員	
トータルコスト	26,491	主な業務内容 コミュニティ活動に直接必要な整備等の購入費を助成するもの					

## 3 事業の概要

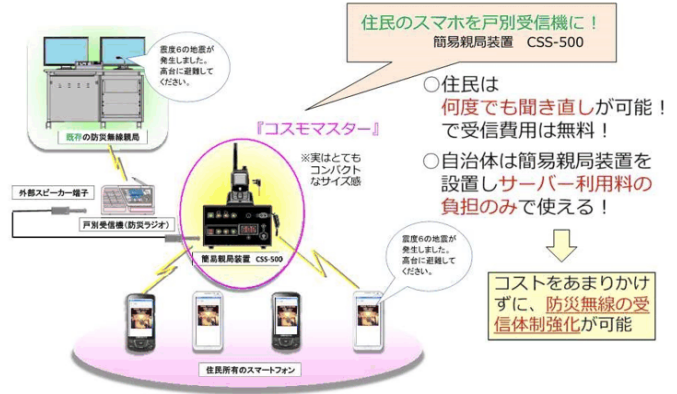
事業の対象 (だれに)	琴浦町民
事業の目的 (なんのために)	防災行政無線、消火栓、地域通信衛星ネットワークの維持管理を行い、消防・防災体制の整備を図ります。災害対応ベースキャンプ備品を購入し、災害時に備えます。

- 1 修繕料 3,932千円
  - ・ 防災行政無線用定期交換用バッテリー交換 3,749千円
  - ・ 防災行政無線直流電源装置整流器修繕 183千円
  - ※バッテリーの交換時期となったため。点検の結果、補修の必要性が判明したため。
- 2 手数料 199千円
  - 【新】地蔵町防火水槽清掃手数料 132千円
  - 【新】移動系無線初回登録料 59千円
  - 【新】移動系無線免許申請印紙代 8千円
- 3 委託料 4,424千円
  - ・ 避難行動要援護者台帳システム保守管理 423千円
  - ・ 防災行政無線・Jアラート保守点検委託料 3,671千円
  - ・ 防災行政無線移動系保守点検委託料 330千円
- 4 使用料 1,450千円
  - 【新】防災無線アプリ(コスモマスター) 594千円
  - 【新】移動系防災無線 856千円

○目的：町防災無線が聞こえないなどの課題解決を図るため、専用アプリを導入し、緊急時を含む防災無線及び定時放送をスマートフォンから音声提供を行い、情報発信能力の向上を図る

- 現状：個別受信機の設置がされていない民間アパートが増えており、町からの情報提供や緊急放送が届かない また、災害時の屋外放送は風雨により、聞こえない場合がある
- 対策：専用アプリシステムを導入することで、町防災無線緊急放送や音声告知放送を町民所有のスマホから直接聞くことができ、通常時、災害時を問わず情報を確実に入手できる環境を整える
- 経費：システム導入費 2,420千円  
使用料 594千円/年

### 1. 自治体の防災無線放送をスマホに流す



5	備品購入費	9,119千円				
	【新】防災無線アプリ（コスモマスター）	2,420千円				
	【新】移動系防災無線	5,893千円				
	【新】災害対応ベースキャンプ備品 （キャンピングオフィス兼用）	804千円				
6	消火栓設備の維持管理	4,292千円				
	部落要望等に基づき消火栓の新設、移設、修繕等を行います。					
	・消火栓管理負担金（水道会計へ支出）	500千円				
	・消火栓移設修繕工事負担金（緊急時用）	500千円				
	・赤碓駅前消火栓修繕工事負担金（2基）	220千円			【10/10町負担】	
	・桜ヶ丘消火栓修繕工事負担金	110千円			【10/10町負担】	
	・花見消火栓修繕工事負担金	550千円			【10/10町負担】	
	・美好消火栓修繕工事負担金	880千円			【10/10町負担】	
	・竹内地内消火栓修繕工事負担金（3基）	792千円			【10/10町負担】	
	・三保地区消火栓新設工事負担金	740千円			【10/10町負担】	
7	地域通信衛星ネットワーク負担金	1,121千円				
	鳥取県が整備する地域通信衛星ネットワークの保守費用の負担を行います。（県・市町村双方が負担）					

前年度からの改善点等 災害時など、確実な情報伝達を行えるよう、防災行政無線用のバッテリー交換を行います。防災行政無線がスマートフォンアプリで聞ける防災アプリ（コスモマスター）を導入します。防災行政無線の移動系無線（MCAハイブリッド無線）を導入します。

根拠法令等  法令(義務)  法令(任意)  条例  規則  訓令・要綱  なし  ( )

規程の名称 消防法、災害対策基本法、琴浦町消防施設整備事業補助金交付要綱ほか

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績 評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。（人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など）					
	年度毎 KPI	指標					
		年度 指標	28	29	30	元	2
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
設定なし		目標					
		実績					
		達成率					

#### 5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
平成30年度	13,771			479	2,200	11,092	
令和元年度	17,688			953		16,735	
令和2年度	24,537		700		8,300	15,537	
前年度増減	6,849	0	700	-953	8,300	-1,198	

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	1422	事業名	ICT化推進事業	事業区分	■新規 □継続				
担当課	総務課	担当係	情報政策係						
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち		基本テーマ	地域とつながる明るい行政サービス				
地方創生 ①	基本テーマ			地方創生 ②	基本テーマ				
	重点項目				重点項目				
	施策				施策				
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費
事業期間	開始	平成31年度		終了			実施主体	■琴浦町 □その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	4,897	0	0	0	0	4,897	
正職員人件費	1,954	前年度	-	人件費/人(千円)		6,513	正職員 0.3
会計年度職員人件費		前年度	-				会計年度職員
トータルコスト	6,851	主な業務内容					タブレット会議、テレビweb会議のシステム導入

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	琴浦町役場全職員及び町民
事業の目的 (なんのために)	限られたマンパワーを有効に発揮するためには「手助けとなる道具」が必要となります。本事業では、ICT技術を用い、行政の高度化・効率化はもとより、「防災対策」「子育て支援」「高齢者対策」といった自治体共通の課題の解決のための支援を行います。

### ○タブレット会議システムの利用 2,359千円

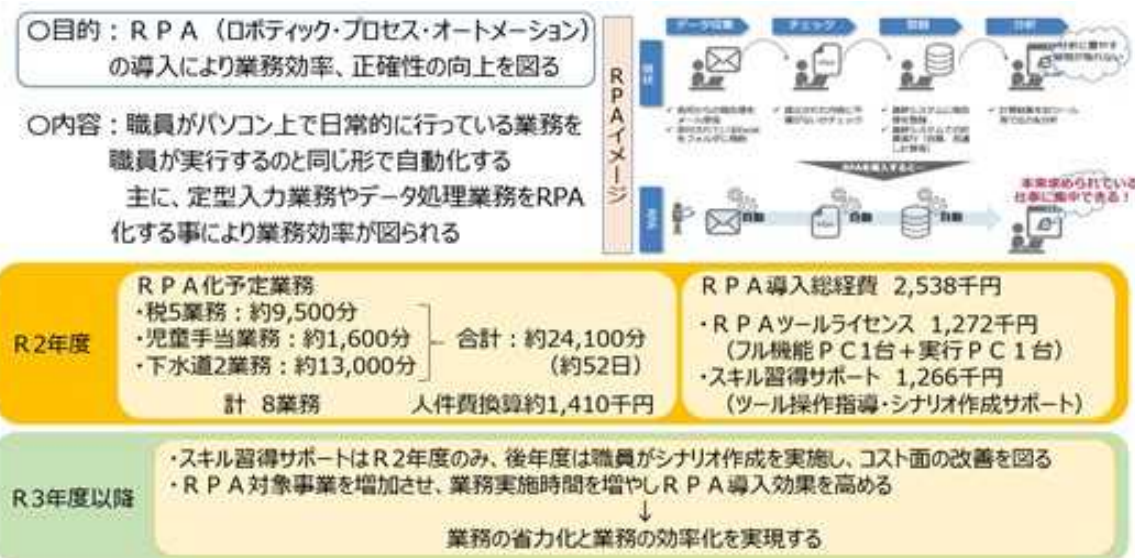
・ 議会関連資料を電算化するペーパーレス化と議会運営の効率化を図るためのシステム利用のほか、Web会議システムによって、遠隔地の会議開催や災害時には被災現場の中継が可能となり防災面でも活用しています。

パーパレス会議システム使用料	396 千円
タブレット端末リース料	1,811 千円
タブレットLTE回線通信料	152 千円

### ○RPAツールの導入 2,538千円

・ **【新】** 増え続けるPCを使用・操作して行う定型業務が増え続けている状況があります。人に代わりRPAツールがそれらを実行することによって定型業務から解放された時間を、人でできない付加価値のある業務に充てる等、働き方を変えて行こうとするものです。

RPAツールライセンス使用料	1,272 千円
※処理シナリオ作成・実行可能システムライセンス×1台、処理シナリオ実行のみシステムライセンス×1台	
RPAツール導入サポート費用	1,266 千円
※RPAツール講習会(基礎・応用の2回)、処理シナリオ作成支援	



前年度からの改善点等	令和2年度からペーパーレス会議システムの本格運用を行います。 Web会議は、防災訓練、県外福祉施設との打合せで使用しており、情報共有において有効性が確認できました。今後は、災害時における災害対策本部との連携等、情報収集の強力ツールとして活用していきます。定型事務を自動化するためのRPAツールの導入を行い、付加価値業務への時間配分の振替や働き方の見直しを行います。
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ( )
規程の名称	

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)				
		指標				
	年度毎 KPI	年度	28	29	30	元 2
		指標				
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。						
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績) 元(現時点)
	千円	目標				
		実績				
		達成率				

#### 5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成30年度	0					0		
令和元年度	4,173					4,173		
令和2年度	4,897					4,897		
前年度増減	724	0	0	0	0	724	0	

#### 6 参考資料

事業の抱える問題点
・ICTシステムの課題は行政の課題の縮図、「見える化」が必要です。また、技術的側面だけでなく運用的側面を念頭に取り組むことが必要となります。

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

一般会計

事業番号	38	事業名	公共交通対策事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
担当課	企画政策課		担当係	企画調整係					
総合計画	基本理念	安全で安心して暮らせるまち		基本テーマ	だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり				
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根づく	地方創生 ②	基本テーマ				
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり		重点項目				
	施策	2	安全・安心で暮らせるまちづくり		施策				
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
事業期間	開始	平成16年度		終了	-	実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他		

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
令和2年度 事業費	124,789		31,660	7,816		85,313	運賃収入 6,816千円 ふるさと未来夢基金 1,000千円	
正職員人件費	9,770	前年度	1,952	正職員年間人件費		6,513	正職員 1.5	
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員	
トータルコスト	134,559	主な業務内容					交通体系再編計画の策定と調整、運行管理、事業者調整、広報等	

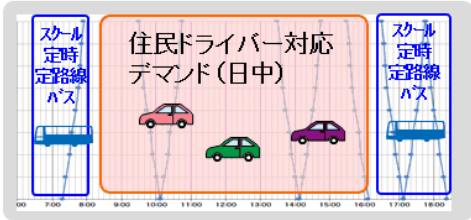
## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	琴浦町民、公共交通利用者（通勤、通学、観光客等）								
事業の目的 (なんのために)	町民の生活に必要な移動手段としての公共交通を確保します。持続可能な地域交通のあり方について推進を行います。								
事業の内容 (どうやって)	○町営バス運行委託	90,258 千円							
	町営バス運行委託料（東伯線、船上山線、琴浦海岸線）		89,238 千円						
	デマンドバス運行委託料（上中村線）		1,020 千円						
	○交通空白地タクシー利用料助成事業	967 千円							
	公共交通空白地タクシー利用料金助成、助成額1/2								
	○公共交通に関する委員会開催	124 千円							
	琴浦町公共交通体系再編計画検討委員会		72 千円						
	琴浦町地域公共交通会議		52 千円						
	○交通に関する補助制度	8,300 千円							
	広域路線バス運行補助金（倉吉赤碕線）		7,500 千円						
バス待合所設置補助金、補助率10/10（上限あり）、1自治会分		600 千円							
【新】助け合い交通支援補助金、補助率10/10（上限あり）、2団体分		200 千円							
<b>助け合い交通支援実験事業 ～ライドシェアによる地域の助け合い～</b>									
<p>○これからの地域交通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会の進行により、自動車の運転ができない、免許返納する高齢者は増加</li> <li>・地域の中で、元気に暮らしていくためには、日常生活の移動を確保していくことが必要</li> <li>・高齢者は身体機能の低下により、バス停までの移動が困難となり、ドアツードア型の交通が希望</li> <li>・しかし、ドライバー不足によるバスの統合や便数減により、すべての移動を公共交通で担うことは困難</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #003366; background-color: #003366; color: white; padding: 5px 15px; border-radius: 10px;">共助交通（地域での助け合い交通）</div> <div style="font-size: 0.8em; margin: 0 10px;">助け合いにより公共交通を補充</div> <div style="border: 1px solid #003366; background-color: #003366; color: white; padding: 5px 15px; border-radius: 10px;">公共交通</div> </div> <p>○地域の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン等参加の際、乗り合いの仕組みができていれば、遠慮することもなくなって参加しやすくなる。</li> <li>・自分で買い物を選ぶことも高齢者の生きがいづくり</li> <li>・ドライバーを担ってくれる人が見つかりにくい。</li> <li>・運転は、自分の車が慣れているので、それを使いたい。だけど、事故の際の保険が心配。</li> </ul> <p>○町による支援の形</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #003366; color: white;"> <th style="width: 50%;">公用車の貸し出し制度</th> <th style="width: 50%;">共助交通時の自動車保険に対する補助制度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: 0.8em;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライドシェアに取り組む地区や団体（徳万地区、商工会を想定）に対して公用車使用を認める（試行）。</li> <li>・試行であり使用料は取らないが、燃料代は自己負担</li> <li>・使用方法などの事務手続きは、協定締結を検討。</li> </ul> </td> <td style="font-size: 0.8em;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象団体 共助交通（助け合い交通）に取り組む団体</li> <li>・補助金額 上限10万円（補助率10/10）</li> <li>・対象経費 保険料、振り込み手数料などの事務経費</li> <li>・燃料代は自己負担</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="font-size: 0.8em;"> <p>【予算措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> </td> <td style="font-size: 0.8em;"> <p>【予算措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助交通自動車保険補助金 20万円（10万円×2団体）</li> <li>想定 1,700円/日×4回/月×12月＝81,600円＋事務経費</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>				公用車の貸し出し制度	共助交通時の自動車保険に対する補助制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライドシェアに取り組む地区や団体（徳万地区、商工会を想定）に対して公用車使用を認める（試行）。</li> <li>・試行であり使用料は取らないが、燃料代は自己負担</li> <li>・使用方法などの事務手続きは、協定締結を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象団体 共助交通（助け合い交通）に取り組む団体</li> <li>・補助金額 上限10万円（補助率10/10）</li> <li>・対象経費 保険料、振り込み手数料などの事務経費</li> <li>・燃料代は自己負担</li> </ul>	<p>【予算措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>【予算措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助交通自動車保険補助金 20万円（10万円×2団体）</li> <li>想定 1,700円/日×4回/月×12月＝81,600円＋事務経費</li> </ul>
公用車の貸し出し制度	共助交通時の自動車保険に対する補助制度								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライドシェアに取り組む地区や団体（徳万地区、商工会を想定）に対して公用車使用を認める（試行）。</li> <li>・試行であり使用料は取らないが、燃料代は自己負担</li> <li>・使用方法などの事務手続きは、協定締結を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象団体 共助交通（助け合い交通）に取り組む団体</li> <li>・補助金額 上限10万円（補助率10/10）</li> <li>・対象経費 保険料、振り込み手数料などの事務経費</li> <li>・燃料代は自己負担</li> </ul>								
<p>【予算措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>【予算措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助交通自動車保険補助金 20万円（10万円×2団体）</li> <li>想定 1,700円/日×4回/月×12月＝81,600円＋事務経費</li> </ul>								
本格的なライドシェアへの機運を醸成									

- 町営バス購入費用 23,100千円  
 【新】29～33人乗り車両、1台購入、23,100千円、1台あたり5,000千円の県補助制度を利用
- その他経費 1,040千円  
 車両点検費用、バス停・車両修繕料、各種税金、時刻表等の印刷費、交通関係会議負担金など
- 住民ドライバーを活用した交通の実証実験 1,000千円  
 【新】上中村線（安田地区、成美地区の一部）におけるあらたな交通システムの実証実験  
 トヨタモビリティ基金及び県補助事業を活用

○運行形態

- ・ドアツードア型(タクシーに近い形)
- ・ドライバーは地域の住民が担う。
- ・運行車両は、自家用車を使用
- ・日中のみデマンド交通を実施
- ・実証実験期間中は、ボランティアによる運転



住民ドライバー+住民利用のシステム構築



※電話、アプリによる予約、配車を検討中

- 今後のスケジュール
- ・3月～4月 地元説明、ドライバー募集
  - ・6月～7月 システム整備、運転講習等
  - ・10月～12月 実証実験
  - ・1月～3月 検証

他地区での導入の検討へ

前年度からの改善点等	交通空白地タクシー利用料助成事業について、事業レビューの意見を踏まえて関係課と調整し変更しました。 琴浦町公共交通体系再編計画に基づき、老朽化している町営バスの更新を行います。
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則 <input checked="" type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 258="" 48="" 486="" 501"="" data-label="Section-Header" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;琴浦町営バスの運行及び管理に関する条例、琴浦町営バスの運行及び管理に関する条例施行規則&lt;br/&gt;琴浦町営バス及び広域路線バス待合所設置費補助金交付要綱、琴浦町バス運行対策費補助金交付要綱など&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <p>4 事業達成度と数値目標</p>

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
利用者数	千円	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	86,796	83,790	76,562	73,547	66,281
		達成率	108.5%	104.7%	95.7%	91.9%	82.9%

5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成30年度	60,899		12,907	7,267		40,725	64,311	運賃収入
令和元年度	111,147		30,189	17,010		63,948		運賃収入、基金
令和2年度	124,789		31,660	38,216		54,913		運賃収入、基金
前年度増減	13,642	0	1,471	21,206	0	-9,035		

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

一般会計

事業番号	1330	事業名	地域づくり事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	企画政策課		担当係	企画調整係					
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根づく		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	1	移住・定住希望者のIJUターン支援			重点項目			
	施策	3	地域の拠点の整備促進			施策			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
事業期間	開始	平成28年度		終了			実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
令和2年度 事業費	5,360			5,100		260	ふるさと未来夢基金【地域】 ふるさと未来夢基金【クラウド】	
正職員人件費	5,210	前年度	1,301	正職員年間人件費	6,513	正職員	0.8	
会計年度職員人件費	0	前年度	0			会計年度職員	0.0	
トータルコスト	10,570	主な業務内容					各地域の課題解決に向けた取り組み等への補助金交付業務。	

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町内各地区ごとに組織し、地域課題の解決に向けて自主的かつ継続的な地域づくりに取り組むことを目的とした団体、及び地域住民。						
事業の目的 (なんのために)	少子高齢化、若者の流出等により集落機能の低下が懸念され、自分たちの地域で将来にわたり安心して暮らしていくためには、地域住民が主体となって活力ある地域を築いていこうとする動きが重要となります。町内各地区において、自らその暮らす地域を考え、地域課題の抽出、把握及びその解決に向け取り組む団体等に対して支援することで、住民主体の地域づくりの推進に資することを目的とします。						
事業の内容 (どうやって)	<p><b>○地域づくり事業補助金 3,600千円</b></p> <p><b>【改】</b>・地域課題の解決に向けた検討や試行・実践に取り組む団体に対して支援することで、地域主体のまちづくりの推進を図ります。</p> <p>課題解決に向けた試行・実践 1団体あたり @200,000円×3団体(補助率10/10、上限200千円) クラウドファンディングによる地域の資金調達支援 3,000千円</p> <p><b>○地域づくりワークショップ実施事業委託料 1,760千円</b></p> <p><b>【新】</b>・令和元年度に作成した地域人口ビジョンを活用し、今後の地域での暮らしを「自分ごと」として考える意識づくりと体制づくりを進めるため、2地区でワークショップを実施します。</p>						
	<p>【背景・目的】</p> <p>人口減少・高齢化の進行と、それに伴う地域力の低下は、中山間地のみならず町内各地域において大きな課題となっている。各地域において、今後の暮らしを「自分ごと」として考え、今の段階から将来を見据えた取り組みを考えていくことが重要であり、その意識づくりと体制づくり、及び地域の課題解決に向けた試行・実践の取り組みを支援する。</p>						
	<p><b>地域づくりワークショップ実施業務</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>委託先</td> <td>一般社団法人) 持続可能な地域社会総合研究所(藤山 浩 所長)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,760,000円</td> </tr> <tr> <td>業務内容</td> <td>令和元年度に作成した地域人口ビジョンを活用し、希望する地区(2地区)でワークショップを開催する。 ①地域人口ビジョンデータを更新 ②団体等の関わりを可視化する地元関連図作成研修の実施(全地区合同:2回) ③ワークショップの実施(2地区)</td> </tr> </table>	委託先	一般社団法人) 持続可能な地域社会総合研究所(藤山 浩 所長)	委託料	1,760,000円	業務内容	令和元年度に作成した地域人口ビジョンを活用し、希望する地区(2地区)でワークショップを開催する。 ①地域人口ビジョンデータを更新 ②団体等の関わりを可視化する地元関連図作成研修の実施(全地区合同:2回) ③ワークショップの実施(2地区)
	委託先	一般社団法人) 持続可能な地域社会総合研究所(藤山 浩 所長)					
委託料	1,760,000円						
業務内容	令和元年度に作成した地域人口ビジョンを活用し、希望する地区(2地区)でワークショップを開催する。 ①地域人口ビジョンデータを更新 ②団体等の関わりを可視化する地元関連図作成研修の実施(全地区合同:2回) ③ワークショップの実施(2地区)						
<p><b>地域づくり事業補助金</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>内容</td> <td>地域課題解決のための仕組みづくりに向けた、試行・実践のための経費に補助する。 1団体あたり 上限200,000円(補助率10/10)×3件 クラウドファンディングによる地域の資金調達支援 3,000,000円(上限) (事業例:共助による交通、共同店舗、特産品づくり、多世代交流など)</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>地区公民館の範囲を単位とし、地域住民が主体となって地域全体の暮らしを支える取り組みを検討・実施する地域運営組織(地区振興協議会など)</td> </tr> </table>	内容	地域課題解決のための仕組みづくりに向けた、試行・実践のための経費に補助する。 1団体あたり 上限200,000円(補助率10/10)×3件 クラウドファンディングによる地域の資金調達支援 3,000,000円(上限) (事業例:共助による交通、共同店舗、特産品づくり、多世代交流など)	対象	地区公民館の範囲を単位とし、地域住民が主体となって地域全体の暮らしを支える取り組みを検討・実施する地域運営組織(地区振興協議会など)			
内容	地域課題解決のための仕組みづくりに向けた、試行・実践のための経費に補助する。 1団体あたり 上限200,000円(補助率10/10)×3件 クラウドファンディングによる地域の資金調達支援 3,000,000円(上限) (事業例:共助による交通、共同店舗、特産品づくり、多世代交流など)						
対象	地区公民館の範囲を単位とし、地域住民が主体となって地域全体の暮らしを支える取り組みを検討・実施する地域運営組織(地区振興協議会など)						



前年度からの改善点等	対象とする団体を「複数の集落で組織する団体等」から、「琴浦町公民館条例に定める対象区域」で組織する団体へ変更(地域課題の解決に対応する地域運営組織) より大きなプロジェクトに取り組もうとする際はクラウドファンディングによる資金調達支援を行います。
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input checked="" type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 109="" 124"="" 258="" 51="" data-label="Section-Header" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;琴浦町輝く地域づくり事業補助金交付要綱&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <h4>4 事業達成度と数値目標</h4>

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎 KPI	指標	地域協議会の拠点地区数				
		年度	28	29	30	元	2
	指標				5		
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
地域運営組織の自主運営	地域	目標			1	1	1
		実績			0	0	0
		達成率			0.0%	0.0%	

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	400					400	86	
令和元年度	2,400			2,200		200		地域振興基金
令和2年度	5,360			5,100		260		ふるさと未来夢基金
前年度増減	2,960	0	0	2,900	0	60		

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

会計

事業番号	210	事業名	商工業の振興		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	商工観光課		担当係	商工係					
総合計画	基本理念	地域資源を生かした豊かなまち			基本テーマ	安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	2	コトウラで創る		地方創生 ②	基本テーマ	4	コトウラに根づく	
	重点項目	3	魅力あるしごとの創出			重点項目	1	移住・定住希望者のIJUターン支援	
	施策	1	企業誘致の推進と新たなしごとの創出			施策	1	コトウラ体験等による移住・定住促進	
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費
事業期間	開始	平成16年度		終了	-		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
令和2年度 事業費	20,710		58	13,652		7,000	ふるさと未来夢基金10,100千円 地域活性化基金800千円 預託金元金等 2,752千円	
正職員人件費	6,513	前年度	6,505	正職員年間人件費		6,513	正職員 1.0	
会計年度職員人件費	0	前年度					会計年度職員 0.0	
トータルコスト	27,223	主な業務内容					各種補助金申請受付・交付、町内事業所対応、商工街路灯維持管理等	

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町内事業者及び町内で起業する方等
事業の目的 (なんのために)	各事業者の自主的な努力を助長することで、人材確保及び地域経済の活性化を図ります。

- **町内企業の振興** 9,504千円  
 商工会等と連携・協力し、町内企業の人材確保や経営基盤の安定などを支援します。
  - ・商工会補助金 6,500千円
  - ・労務改善協議会補助金 280千円
  - ・中小企業イメージアップ推進事業補助金(町1/2) 500千円  
 人材確保のため、自社のイメージアップのための取組みを行う事業者を支援します。
  - ・燃油高騰対策特別金融支援事業補助金 対象利息1/2(県1/4、町1/4) 118千円
  - ・小規模事業者経営改善資金利子補給金補助金(町1/2) 1,355千円
  - ・中小企業小口融資預託金 751千円
- **起業支援** 4,000千円  
 町内で起業する移住者に対し、その初期投資に係る経費の支援ならびにクラウドファンディング型ふるさと納税を活用した資金調達支援を行うことで、経済の活性化及び移住定住促進を図ります。
  - 【改】・IJUターン起業支援補助金 4,000千円

### 【改】IJU起業支援補助金

#### 目的

町内で新たに起業する移住者に対し、その初期投資に係る費用の助成を行う。令和2年度からは、新たにクラウドファンディング型ふるさと納税を活用した資金調達の支援を追加し、経済の活性化及び移住定住の促進を図る。

IJU起業支援補助金		ふるさと納税型クラウドファンディング			
交付対象者	本町に転入して1年を経過していない者(移住者)	<div style="font-size: 2em; color: #0070c0;">+</div> <div style="border: 1px solid #0070c0; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">上乗せ</div>	事業内容 ・自然環境の保全 ・次世代育成の支援 ・高齢者福祉の増進 ・地域活力の創出に寄与する事業等		
補助対象経費	・土地及び建物の取得、建築、賃借、改修等にかかる経費 ・設備の購入、賃借、改修、修繕経費 ・車両、工具または備品の購入、賃借経費 ・事業開始時の広告宣伝に係る経費等			補助金の上限	調達した資金内
補助率	対象経費の1/2				
補助金の上限	500千円				

○ 地域経済循環の促進 **5,016千円**

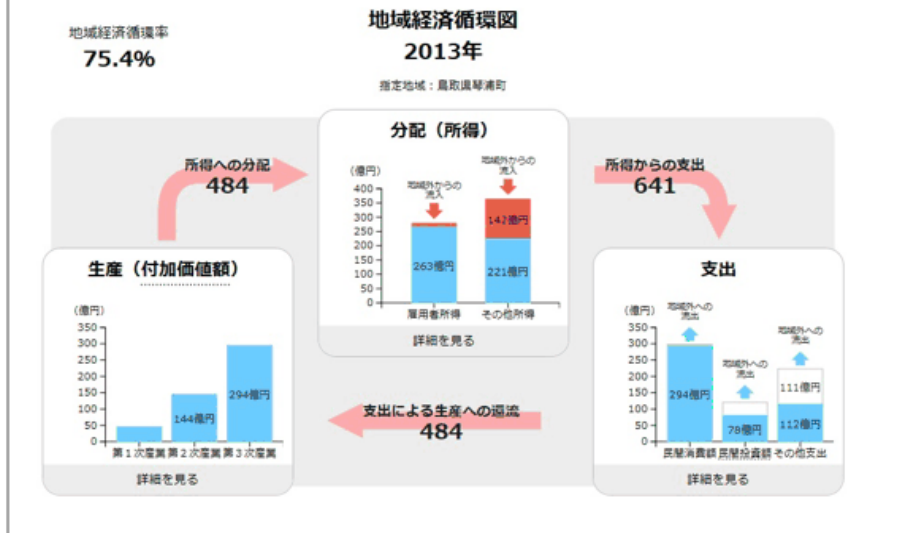
町内の飲食業を中心とした域内調達や生産、雇用に関わる波及効果を明らかにするとともに町民を対象とした品目別の家計調査を実施することで、域外流出の把握を行います。

【新】・地域経済循環分析調査委託料

5,016千円

### 現状・課題

2013年の地域経済循環図(RESAS)では、町内の生産額と町民及び企業が地域外から稼いでくる金額の合計**641億円**が所得として入り、**支出では157億円が地域外へ流出している**という結果である。地域経済循環率は75.4%であり、24.6%は地域外へ流出している。



### 調査・報告

・ 飲食業を中心とした事業体調査(50事業体)  
消費・流通・生産の3段階の取引状況をヒヤリングし、地域内での調達状況や所得創出効果を明らかにする。

・ 町民を対象とした品目別の家計調査(50世帯程度)  
各世帯の支出状況(家計簿)を集約し、地元消費の割合や品目別の消費額を明らかにする。

・ 予算額 **5,016千円**

※北海道  
下川町の例

家計における品目別 域内外購入と地元産品購入状況 (詳細表)

品目	域内購入額	域外購入額	地元産購入額	域内購入率	地元産購入率
米	¥10,495,447	¥34,273,840	¥0	23.4%	0.0%
パン	¥32,075,327	¥11,115,068	¥18,517,347	74.3%	42.9%
めん類	¥10,332,092	¥4,131,718	¥8,631,773	73.4%	59.7%
粉物・穀類	¥323,485	¥1,056,382	¥0	23.4%	0.0%
生鮮野菜	¥33,704,915	¥38,437,801	¥153,580	46.7%	0.2%
野菜加工品	¥24,418,387	¥15,792,452	¥5,866,361	50.7%	14.6%
生鮮果物	¥12,840,581	¥18,783,791	¥0	40.6%	0.0%
生鮮肉	¥24,709,005	¥27,419,171	¥0	47.4%	0.0%
肉加工品	¥5,832,676	¥6,472,424	¥0	47.4%	0.0%
鮮魚	¥30,642,154	¥2,734,182	¥0	41.8%	0.0%
魚加工品	¥8,037,476	¥11,209,231	¥0	41.8%	0.0%
冷凍食品・インスタント食品	¥13,989,978	¥15,274,399	¥0	47.8%	0.0%
牛乳・乳製品	¥4,637,348	¥7,259,264	¥0	56.0%	0.0%
油・調味料	¥19,449,321	¥30,335,431	¥0	39.1%	0.0%
卵	¥12,284,721	¥1,997,834	¥0	86.0%	0.0%
お菓子	¥36,472,082	¥26,234,666	¥20,853,197	58.2%	33.3%
惣菜おかず・弁当など	¥48,737,706	¥26,434,854	¥36,213,884	64.8%	48.2%
コーヒー・豆粉・ココア粉・茶葉等	¥4,088,181	¥7,305,238	¥0	42.5%	0.0%
アルコール飲料	¥24,804,731	¥8,109,991	¥0	75.2%	18.6%
アルコール飲料	¥46,135,550	¥31,240,236	¥0	59.6%	0.0%
外食	¥85,597,165	¥56,523,142	¥0	50.2%	0.0%
小計	¥529,608,328	¥420,221,116	¥96,376,134	55.8%	10.1%

	<b>○ 特産品ブランド化推進</b> <span style="float:right">850千円</span> 「とっとり琴浦グランサーモン」の特徴を活かした料理を提供するとともに、工夫を凝らしたフェスタをを民間との協働で実施することにより、サーモンのブランド化を加速させ、「安心・安全なサーモンが食べられる町ことうら」を目指します。 ・とっとり琴浦グランサーモンフェスタ実施委託料 <span style="float:right">850千円</span>
	<b>○ その他事務費等</b> <span style="float:right">1,340千円</span> ・商工街路灯維持管理ほか <span style="float:right">1,340千円</span>

前年度からの改善点等 商工会等関係団体との連携を強化し、事業者の取組みを支援することで、町内企業の振興に資するとともに、地域経済の活性化に繋がります。

根拠法令等  法令(義務)  法令(任意)  条例  規則  訓令・要綱  なし  ( )  
規程の名称 琴浦町商工会補助金交付要綱、琴浦町中小企業イメージアップ推進事業補助金、琴浦町小規模事業者経営改善資金利子補給金交付要綱他

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
		指標	町内事業所の従業員数 6,880人				
	年度毎 KPI	年度	28	29	30	元	2
		指標	-	-	-	-	

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
新規起業件数	千円	目標	2	2	2	2	2
		実績	1	1	2	2	0
		達成率	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	15,994			15,448		546	27,130	
令和元年度	62,265		36	59,009		3,220		
令和2年度	20,710		58	13,652		7,000		
前年度増減	-41,555	0	22	-45,357	0	3,780		

#### 6 参考資料

事業の抱える問題点  
町内事業所の人手不足が深刻化しており、対策を講じる必要があります。  
また、商工街路灯が老朽化してるため、今後の維持管理の検討が必要です。

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

会計

事業番号	215	事業名	観光振興事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	商工観光課		担当係	観光係					
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	ふるさとの魅力を誇り生き生きと輝くひとづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	3	コトウラで輝く		地方創生 ②	基本テーマ	3	コトウラで輝く	
	重点項目	1	豊かな自然と文化を生かした観光振興			重点項目	1	豊かな自然と文化を生かした観光振興	
	施策	2	観光振興による交流人口の増加			施策	3	広域観光の推進	
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
事業期間	開始	平成16年度		終了	-		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	14,698			1,516		13,182	地域振興基金1,000千円 観光自販機電気料516千円
正職員人件費	1,954	前年度	1,952	正職員年間人件費	6,513	正職員	0.3
会計年度職員人件費	3,929	前年度				会計年度職員	1.8
トータルコスト	20,581	主な業務内容		観光協会との連絡調整、観光に係る全般業務			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	一般観光客
事業の目的 (なんのために)	交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。

### 琴浦町の観光ビジョン（令和2年度～令和6年度）

## 基本方針 稼ぐ観光で町の産業全体の底上げを図る!!

#### 観光に関する3つの課題

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p style="text-align: center; color: red;">【道の駅活用】</p> <p>●観光入込動態調査によると、H26年の71万4千人をピークとして、観光入込客は減少傾向（H30年67万6千人）。また、2つの道の駅が同調査全体数の86%を占めていることから、町内観光地への誘導へ向けた取組みが必要。</p> | <p style="text-align: center; color: red;">【ブランド力】</p> <p>●山陰道の開通を機に、食のブランド化に取り組んできたが、新たな観光資源の掘り起こしやマンネリにより情報発信力やブランド力が低下。町の再ブランド化による情報発信やインバウンドへの取組みが必要。</p> | <p style="text-align: center; color: red;">【経済効果】</p> <p>●観光バスを増やすという成果は出ているものの、旅行者に滞在時間を延ばしていただくことや、お金を落としていただく仕組みを構築できていない。観光消費の拡大や町の自然等を活用した滞在時間を伸ばす取組みが必要。</p> |
|---|---|--|

### “稼ぐ観光” へ向けた3つの重点プロジェクトと9の主要施策 コトウラ観光産業化プロジェクト（令和2年度）42,102千円

道の駅を“核”として 町内周遊を促進	まちのリブランディングにより 情報発信を強化	農畜水産物や地域資源を活かした 観光メニューづくり
<p style="color: red;">(1) 道の駅の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの道の駅の役割分担、連携強化</li> <li>・道の駅「琴の浦」のリニューアル</li> <li>・マネジメント見直し（指定管理者制度）</li> <li>・観光案内所の機能強化</li> <li>・インバウンドの拠点化</li> </ul> <p style="color: red;">(2) 町内周遊の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI Beaconシステムによる人流分析</li> <li>・周遊ルートの創出、案内看板の整備</li> <li>・道の駅周辺の魅力ある景観づくり</li> </ul>	<p style="color: red;">(3) リブランディングによるブランド創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光パンフレット、動画の制作</li> <li>・観光ホームページの制作</li> </ul> <p style="color: red;">(4) 観光協会の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の強化（協力隊制度活用）</li> <li>・町と観光協会の役割分担、連携強化</li> <li>・観光案内所の機能強化（再掲）</li> </ul> <p style="color: red;">(5) 広域観光・広域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大山山麓・日野川流域観光推進協議会</li> </ul> <p style="color: red;">(6) インバウンド対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種観光施設、宿泊施設の多言語化整備</li> </ul>	<p style="color: red;">(7) グルメを活かしたメニューづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳や牛肉、サーモン等の活用</li> <li>・各種イベント（グルメdeめぐるウォーク、白鳳祭、船上山さくら祭り）</li> </ul> <p style="color: red;">(8) 自然・歴史を活かしたメニューづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大山隠岐国立公園の活用（一向平キャンプ場のリニューアル）</li> </ul> <p style="color: red;">(9) 体験型観光・土産物の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験型観光の推進</li> <li>・既存商品のブラッシュアップ</li> <li>・土産品（グッズ等）の試作品開発</li> </ul>

- 【改】 ○「琴の浦」観光案内所運営委託料 5,100 千円  
観光案内所を町観光協会に運営委託し、観光情報発信を図ります。
- 【改】 ○町観光協会運営補助金（町1/2） 1,100 千円  
観光情報発信など各種観光振興事業について運営補助を行います。
- 【改】 ○町観光協会会費負担金 1,100 千円  
観光協会の会費負担を行い、町の観光振興に寄与します。
- 【新】 ○地域おこし協力隊（観光） 3,558 千円  
観光案内所の業務支援や観光情報の収集とSNS発信などPR強化を行います。
- 『グルメdeめぐるウォーク』業務実施 1,178 千円  
民間と協働でイベントを実施し、健康づくりと「グルメのまち琴浦」をPRします。
- 一般事務費等 2,662 千円  
各種施設修繕・維持管理等経費、各種団体負担金

事業の内容  
(どうやって)

## 観光振興に係る主な予算（令和2年度）

地方創生推進交付金を活用した「コトウラ観光産業化プロジェクト」事業に加え、地域おこし協力隊制度を活用した観光協会の体制強化により、まちの観光振興を図ります。

道の駅を“核”として 町内周遊を促進	まちのリブランディングにより 情報発信を強化	農畜水産物や地域資源を活かした 観光メニューづくり
<p><b>(1) 道の駅の機能強化</b>  <b>①観光情報発信事業 2,500千円</b>                      道の駅に偶然立ち寄った観光客に、訴求力のある映像等で興味を持たせることにより、ちょっと寄ってみようかというような町内の周遊へと繋げるため、観光協会が常駐する観光情報発信棟（観光案内所）にパネルやデジタルサイネージを設置する。</p> <p><b>②物産館ことうら改修 20,402千円</b>                      道の駅活性化計画に基づき、マネジメントの見直しを行うほか、情報コーナー（飲食スペース兼）部分の一部改修を計画。</p>	<p><b>(3) リブランディングによるブランド創出</b>  <b>①情報発信機能強化事業 7,000千円</b>                      第2次観光ビジョンやリブランディングに基づく観光パンフレット等の制作                      ・観光パンフレット、動画の制作                      ・観光ホームページの制作</p> <p><b>(4) 観光協会の強化</b>  <b>①地域おこし協力隊派遣 3,558千円</b>                      地域外から意欲のある人材を受け入れ、外部の新たな視点や発想で、まちの観光情報を発信</p> <p><b>(6) インバウンド対策</b>  <b>①インバウンド対策整備 500千円</b>                      一向平キャンプ場や農家民宿の多言語化整備</p>	<p><b>(9) 体験型観光・土産物の開発</b>  <b>①観光商品開発委託料 3,000千円</b>                      稼ぐ力を発揮し、観光消費額の増加へ繋げるため、琴浦ならではの観光関連商品の開発・試作品の制作等を行う。                      ・既存商品のブラッシュアップ                      ・土産品（グッズ等）の試作品開発</p>

前年度からの改善点等 観光情報発信業務委託事業を見直し、観光ビジョンにおける町と観光協会の役割分担を確立します。

根拠法令等  法令（義務）  法令（任意）  条例  規則  訓令・要綱  なし  ( )

規程の名称 琴浦町自然公園美化推進補助金交付要綱

### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
		指標	町観光入込客数 92万7千人 (H31 数値)		県中部観光入込客数 260万人 (H31 数値)		
	年度毎 KPI	年度	28	29	30	元	2
		指標	町：78万6千人 中部：230万人	町：82万5千人 中部：240万人	町：86万6千人 中部：250万人	町：92万6千人 中部：260万人	町：90万人 中部：250万人

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	92.6
		実績	67.8	65.2	67.7	68	
		達成率	90.6%	83.0%	82.1%	78.1%	
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	
		実績	217	196	185	176	
		達成率	98.6%	85.2%	77.1%	70.4%	

### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	17,350					17,350	15,426	
令和元年度	20,678		2,000	18,516		162		
令和2年度	14,698			516		14,182		
前年度増減	-5,980	0	-2,000	-18,000	0	14,020		

### 6 参考資料

#### 事業の抱える問題点

道の駅「琴の浦」から町内の各観光地への誘導が必要です。  
 新たな観光資源の掘り起こしや展開が出来ていないことなどから、情報発信力やブランド力が低下しています。  
 旅行者に滞在時間を延ばしていただくことや、お金を落としていただく仕組みを構築することが必要です。

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

会計

事業番号	217	事業名	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	商工観光課		担当係	観光係					
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	ふるさとの魅力を誇り生き生きと輝くひとづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	3	コトウラで輝く		地方創生 ②	基本テーマ	3	コトウラで輝く	
	重点項目	1	豊かな自然と文化を生かした観光振興			重点項目	1	豊かな自然と文化を生かした観光振興	
	施策	2	観光振興による交流人口の増加			施策	3	広域観光の推進	
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
事業期間	開始	平成16年度		終了	-		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	4,931		273	4,000		658	ふるさと未来夢基金4,000千円
正職員人件費	1,954	前年度	651	正職員年間人件費		6,513	正職員 0.3
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員 0.0
トータルコスト	6,885	主な業務内容		キャンプ場と中国自然歩道の維持管理、指定管理者との連絡調整			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	一般観光客
事業の目的 (なんのために)	交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。
事業の内容 (どうやって)	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>事業名称: 一向平キャンプ場観光地化プロジェクト ～一向へ行こう!～ (R01拠点整備交付金)</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【一向平キャンプ場に係る現在の動き】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定管理者が、民間会社の株式会社スマイルキューブとなる。指定期間は令和2年度から5年間。</li> <li>● 近年のキャンパーのニーズに合わせたサイト区画の大型化やキャンピングカーサイトの導入。</li> <li>● 新設のホームページやキャンプ場予約サイト「なっぷ」などインターネットを活用した誘客の推進。</li> <li>● 一向平の自然を活かしたトレッキングなど体験型キャンプメニューを計画。</li> </ul> <p>⇒これを活かし 大山の自然と観光を融合</p> </div> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>策定中の観光ビジョンに基づき町の観光地を整備</p> <p><b>基本方針 稼ぐ観光で町の産業全体の底上げを図る!!</b></p> <p>自然体験型の観光振興を推進することにより、アウトドアのターミナルスポットを創り出し、観光消費の拡大や滞在時間の延長に繋げる。</p> </div>
	<p>○中国自然歩道維持管理 <span style="float: right;">273 千円</span>  <small>管理作業委託料243千円 消耗品30千円</small></p> <p>○登山道倒木処理・清掃作業委託料 <span style="float: right;">80 千円</span>  <small>適切な維持管理を行うことで利用者の安全性・利便性を高めます。</small></p> <p>○一向平キャンプ場指定管理料 <span style="float: right;">3,000 千円</span>  <small>指定管理者制度により、一向平キャンプ場とその周辺の管理運営を行います。</small></p> <p>○施設維持管理費等 <span style="float: right;">1,578 千円</span>  <small>一般修繕・浄化槽管理・火災保険料等</small></p>
前年度からの改善点等	令和2年度から、民間業者による指定管理による運営を行います。
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 499="" 521="" 955="" 969"="" data-label="Page-Footer" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;琴浦町一向平キャンプ場条例&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <p style="text-align: center;">14</p>

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績 評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎 KPI	指標	町観光入込客数 92万7千人 (H31 数値) 県中部観光入込客数 260万人 (H31 数値)				
		年度	28	29	30	元	2
		指標	町：78万6千人 中部：230万人	町：82万5千人 中部：240万人	町：86万6千人 中部：250万人	町：92万6千人 中部：260万人	町：90万人 中部：250万人
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目		単位	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
利用者数 (観光地点別入込客)	人	目標	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
		実績	8,979	7,201	8,766	7,309	
		達成率	105.6%	84.7%	103.1%	86.0%	

#### 5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成30年度	5,010		209			4,801	4,928	
令和元年度	4,913		209			4,704		
令和2年度	4,931		273			4,658		
前年度増減	18	0	64	0	0	-46		

#### 6 参考資料

事業の抱える問題点
新たな指定管理体制での運営開始にともない、森林体験交流センターの雨漏りなど施設修繕等を急ぐ必要があります。



# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

会計

事業番号	414	事業名	関係人口創出事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
担当課	商工観光課		担当係	移住定住係					
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	地域とつながる明るい行政サービス			
地方創生 ①	基本テーマ				地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目					重点項目			
	施策					施策			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費
事業期間	開始	平成16年度		終了	—		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町	<input type="checkbox"/> その他

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	2,366			2,155		211	地域活性化基金2,155千円
正職員人件費	1,303	前年度	1,301	正職員年間人件費	6,513	正職員	0.2
会計年度職員人件費		前年度				会計年度職員	0.0
トータルコスト	1,303	主な業務内容		琴浦会運営、若者のネットワークづくり、ふるさと住民票			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	県外在住の琴浦町出身者、ふるさと住民
事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町出身者等で組織する琴浦会を運営し、会員相互の親睦を深め、郷土琴浦町の発展に寄与します。</li> <li>・ 将来の琴浦会を担う琴浦町出身の若者とのネットワークづくりに取り組み、組織の拡充を目指します。</li> <li>・ 「ふるさと住民票」制度を実施し、関係人口を拡大し、将来的な地域の活性化を目指します。</li> </ul>
	<p>○琴浦会東日本交流会の開催 556千円                      会員同士の情報交換や親睦を図るため、交流会を開催します。                      日程 東日本(4月)                      記念品 30千円、食材等消耗品 100千円、会場等使用料 120千円                      職員旅費 288千円、参加負担金 18千円</p> <p>○関西の若者を対象としたネットワークづくり 361千円                      町内に在住する若者に協力を得て、関西での若者のネットワーク拡充に取り組みます。                      記念品 20千円、費用弁償 188千円、会場使用料 50千円、交流会負担金 40千円                      職員旅費 63千円</p> <p><b>【新】</b> ○ふるさと住民票 1,089千円                      記念品 40千円、消耗品費 150千円、チラシ印刷費 100千円、通信運搬費 118千円                      カード作成委託料 458千円、職員旅費 146千円</p> <p>● 目的                      人口減少の抑制が難しいなか、関係人口に着目した取り組みを行う。                      「ふるさと住民制度」は、構想日本が提言する都市部と過疎地など複数自治体での居住を促し、将来的な移住促進や地域活性化を目指す制度。                      ○鳥取県日野町、北海道ニセコ町、鹿児島県志布志市など全国10市町村で実施中。(令和2年1月)                      ○ふるさと住民は町外の方を対象とし、登録された住民は町から所定のサービスを受ける。制度の登録料等はなし。</p> <p>● 概要</p> <p><u>対象者</u> : 琴浦町出身者や町を応援してくれる方。                      (ふるさと納税の一定の寄付を検討)</p> <p><u>サービス内容</u> : 住民カードの発行、                      メルマガでの町の情報発信・アンケート、                      パブコメント参加                      町外交流イベント(意見交換会、琴浦会合同交流会)                      【※将来的に】PR名刺の配布、町内体験ツアー</p>



※住民カード例

**【新】〇ワーケーション推進事業 360千円**

ワーケーションの行き先として琴浦町を選んでいただき、町内の企業人材や地域との交流により地域課題の解決や関係人口の創出へと繋がります。

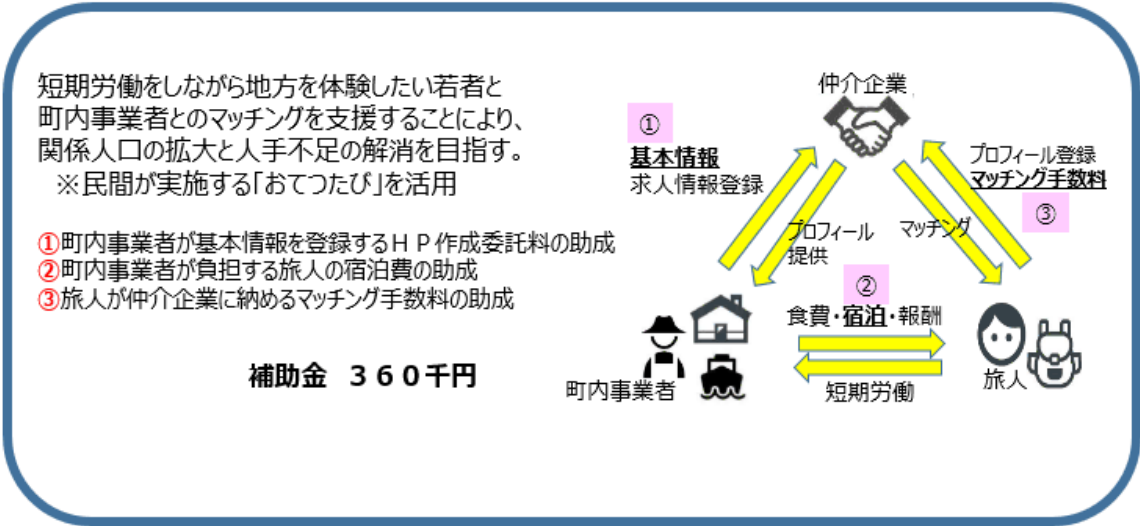
ワーケーション：「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。リモートワークを活用するなどし、リゾート地などで休暇や研修を兼ねて短中期的に仕事を行う取組み。

企業向け補助金 30千円

県内移動時のレンタカー代を助成します。

個人向け補助金 345千円

町内事業所と都会の若者の雇用のマッチングに係る経費を助成します。



前年度からの改善点等	R2年度よりこれまでの国内交流に関係人口拡大の視点を加え、事業名を「関係人口創出事業」とし、新事業として「ふるさと住民票」制度を加えました。
------------	--

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input checked="" type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 473="" 48="" 488"="" 966="" data-label="Table" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <table border="1"> <tr> <td>規程の名称</td> <td>琴浦町国際交流協会補助金交付要綱、琴浦町国際交流推進事業補助金交付要綱</td> </tr> </table>	規程の名称	琴浦町国際交流協会補助金交付要綱、琴浦町国際交流推進事業補助金交付要綱
規程の名称	琴浦町国際交流協会補助金交付要綱、琴浦町国際交流推進事業補助金交付要綱		

**4 事業達成度と数値目標**

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)				
	年度毎 KPI	指標				
		年度	28	29	30	元

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
		目標					
		実績					
		達成率					

**5 コストの推移**

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	849					849	466	東日本
令和元年度	1,486					1,486		東・西日本
令和2年度	2,366			2,155		211		ふるさと住民票開始
前年度増減	880	0	0	2,155	0	-1,275		

**6 参考資料**

事業の抱える問題点  
 琴浦会会員の高齢化が進み、会員数の減少と町との関わりが希薄になりつつあります。若年層と町との関係の構築や、関係人口拡大を強化するための対策が必要です。

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報




一般会計

事業番号	1430	事業名	森林環境譲与税関連事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係					
総合計画	基本理念	地域資源を生かした豊かなまち			基本テーマ	安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	2	コトウラで創る		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	1	自然の恵みからなる農林水産業の振興			重点項目			
	施策	1	遊休農地の解消と担い手の育成			施策			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
事業期間	開始	令和元年度		終了	-		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	13,548			3,616		9,932	森林環境譲与税基金 3,615 基金利子 1
正職員人件費	1,303	前年度		正職員年間人件費		6,513	正職員 0.2
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員
トータルコスト	14,851	主な業務内容		森林の適正管理に向けた経営管理権の設定、木材の普及啓発			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	森林所有者、町民
事業の目的 (なんのために)	水源の涵養などの機能を有する山林の適正管理、林業産業化、森林の大切さ等を伝える木育教育の推進を図ります。
事業の内容 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営管理集積計画作成等委託業務 <span style="float: right;">2,492 千円</span> 令和元年度に、森林管理の意向確認を行った森林の中で、市町村へ管理を希望する森林について経営管理の委託を行うため、集積計画作成を委託します。 @78,100円/ha × 29ha × 1.1 = 2,491,390円</li> <li>○ 経営管理意向調査委託業務 <span style="float: right;">656 千円</span> 今後の森林管理の意向について、森林所有者に確認を行う業務を委託します。 @14,890円/ha × 40ha × 1.1 = 655,160円</li> <li>○ 木育教育実施委託業務 <span style="float: right;">132 千円</span> 町内の小学校等で、森林の大切さや木の素晴らしさ等を伝える木育教育の実施を委託します。 ・実施予定箇所：小学校、まなびタウン</li> <li>○ 木育事業活用備品購入 <span style="float: right;">335 千円</span> まなびタウン図書館や保健センター等で使用する木製おもちゃの購入等を行います。 ・木育事業活用備品 129,000円 × 1.1 ・木製ベンチ 25,000円 × 7園 × 1.1</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林環境譲与税基金積立金 <span style="float: right;">9,932 千円</span> 国から町へ交付される森林環境譲与税を基金へ積立てます。</li> <li>○ 森林環境譲与税基金利子積立金 <span style="float: right;">1 千円</span></li> </ul>
前年度からの改善点等	

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ( )
規程の名称	森林経営管理法

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)				
	年度毎 KPI	指標				
		年度	28	29	30	元
		指標				

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
	千円	目標					
		実績					
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

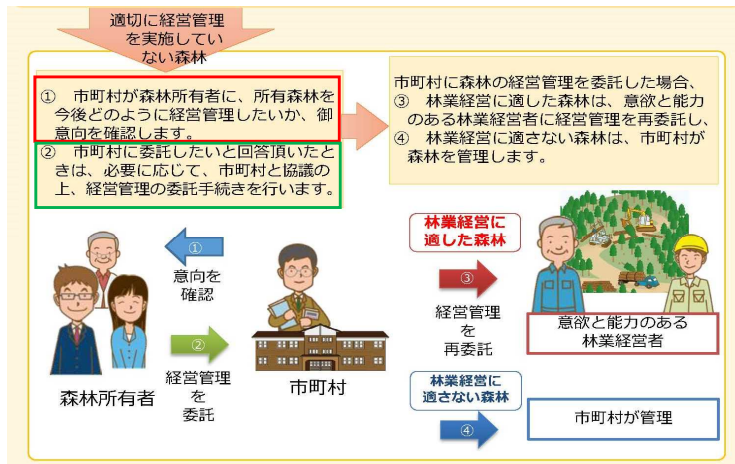
#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	0					0		
令和元年度	0					0		
令和2年度	13,548			3,616		9,932	森林環境譲与税基金繰入金	
前年度増減	13,548	0	0	3,616	0	9,932		

#### 6 参考資料

補助金算定基準、図表・写真等を必要に応じて記載する。補正予算の理由について詳細を記載する。

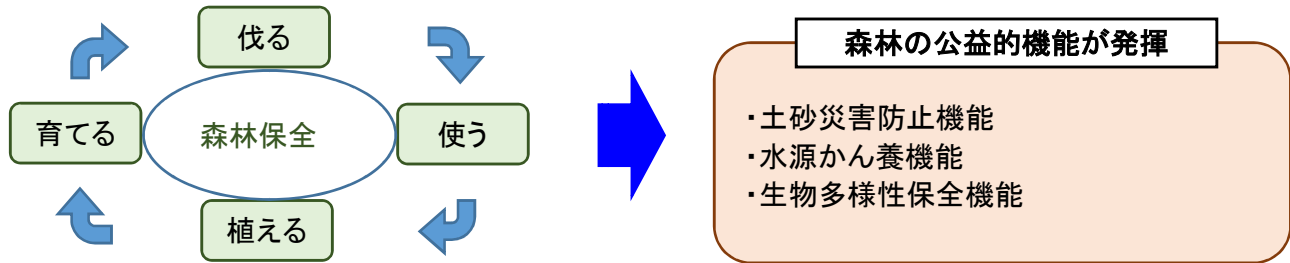
##### ○ 新たな経営管理システムの概要



- ① 経営管理意向調査委託業務
- ② 経営管理集積計画作成等委託業務 R1に実施した倉坂、福永、尾張

##### ○ 木育の必要性

森林との関わりに気づき、主体的に考えられる豊かな心を育むため、子どもから大人まで木育が必要



# 令和 2 年度 事業説明書



## 1 基本情報

事業番号	107	事業名	健康教育	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係	
総合計画	基本理念	安全で安心して暮らせるまち		基本テーマ	だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根づく	地方創生 ②	基本テーマ
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり		重点項目
	施策	1	健康に生きるまちづくり		施策
予算区分	款	4	衛生費	項	1 保健衛生費
事業期間	開始	-		終了	-
				実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	3,274	0	67	2,800	0	407	ふるさと未来夢基金 2,800千円
正職員人件費	9,118	前年度	9,107	正職員年間人件費	6,513	正職員	1.4
会計年度職員人件費	0	前年度	0			会計年度職員	0.0
トータルコスト	12,392	主な業務内容					

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町民及び町内事業所に勤務する者
事業の目的 (なんのために)	がんや生活習慣病の予防をテーマとした各種健康教育を実施して正しい知識の普及・啓発を行い、検診受診や生活習慣改善等健康管理への意識を高め、町民の健康寿命の延伸を目指します。
事業の内容 (どうやって)	<p>○町民対象の健康教育 3,145千円 <span style="float: right;">【県2/3：按分率による】</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンディショニングコーディネーターによる運動習慣の定着に向けた取り組みを行います。</li> <li>・健康づくり講演会：全町民を対象に、医師等を迎えて生活習慣病予防等の講演会を実施します。</li> <li>・部落健康教室：部落公民館で健康教育、健康相談及び運動指導を実施します。</li> <li>・希望部落へ『地元で実施大腸がん検診』を実施します。（講話、容器配付）</li> <li>・一般健康教室：町内で活動している各種団体に対して、健康教育を実施します。</li> <li>・事業所健康講座：町内の事業所の勤務者に対して、健康教育を実施します。</li> <li>・ゲートキーパー研修：人に携わる職種や部落の健康づくり推進員・区長等を対象に実施します。</li> </ul> <p style="text-align: center;">報償費：177千円    消耗品費：60千円    通信運搬費：56千円    委託料：2,852千円</p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">(持続可能な取り組みへの昇華)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>谷川CC</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高齢者サークルにおける指導の様子</p> </div> </div> <p><b>【3年目となる令和2年度の重点取り組み】</b>                      3年目は、谷川CCの今までの取り組みの全体評価を行うとともに、指導内容等の記録保存を進め、指導者養成を行うことで持続可能な取り組みとなるよう展開を図ります。</p> <p><b>【谷川CCによる運動指導等新規事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団巡回指導</li> <li>・体幹教室コース設定(初級、中級(上級))</li> <li>・町報シリーズ掲載(おうちで簡単体操)</li> </ul> <p>※町内理学療法士とのリレー掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の記録保存(メディア等)</li> <li>・指導者養成プログラム作成</li> </ul>

	<p>○各部落の健康づくり推進員対象の健康教育 62千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進員研修会：年2回推進員の資質向上の研修会を医師を迎えて実施します。 報償費：36千円 通信運搬費：26千円</li> </ul> <p>○喫煙及び受動喫煙防止に対する正しい知識の普及・啓発 29千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙及び受動喫煙防止啓発チラシを町内飲食店・宿泊施設・事業所・各部落へ配布し、普及啓発を図ります。</li> <li>受動喫煙対策の進捗状況確認のため、町内飲食店・宿泊施設へアンケートを行います。 印刷製本費：29千円</li> </ul> <p>○健康相談 38千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定例健康相談：定期的に健康相談を実施します。（保健センターにて毎月1回、年12回実施予定）</li> <li>その他の健康相談：部落健康教室や栄養講座の際、希望する部落へ健康相談を実施します。 消耗品費：5千円 医薬材料費：33千円</li> </ul> <p>○訪問指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疾病の発生予防や重症化予防のために、要指導者に対し訪問指導を行い、町民の健康づくりを推進します。</li> </ul>
--	---

前年度からの改善点等	既存の生活習慣病予防の健康教育内容に、ロコモティブシンドロームやフレイル等の予防、介護・認知症予防等を追加し、対象者に適した健康啓発を行うため、健康教育のメニューの幅を広げています。また、受動喫煙に関する健康増進法の一部改正と法律施行に伴い、受動喫煙防止についての周知を図っていきます。
------------	---

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ( )
規程の名称	健康増進法

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
		指標	健康寿命延伸 (基準=平成27年度末を0とする)				
	年度毎 KPI	年度	28	29	30	元	2
		指標	0.25	0.50	0.75	1.00	1.25

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
部落健康教室の開催	回	目標	35	35	35	35	35
		実績	29	26	22	26	37
		達成率	82.9%	74.3%	62.9%	74.3%	105.7%
事業所健康講座の開催	回	目標	8	8	8	8	8
		実績	2	3	2	6	8
		達成率	25.0%	37.5%	25.0%	75.0%	100.0%

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	411	0	77	0	0	334	229	
令和元年度	4,347	0	67	0	0	4,280		
令和2年度	3,274	0	67	2,800	0	407		
前年度増減	-1,073	0	0	2,800	0	-3,873		

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	1256	事業名	健康寿命延伸事業（地方創生）		事業区分	□新規 ■継続			
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係					
総合計画	基本理念	安全で安心して暮らせるまち			基本テーマ	だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根付く		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり			重点項目			
	施策	1	健康に生きるまちづくり			施策			
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康づくり推進事業費
事業期間	開始	平成27年度		終了	平成32年度		実施主体	■琴浦町 □その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	920	0	0	500	0	420	ふるさと未来夢基金 500千円
正職員人件費	6,513	前年度	3,253	正職員年間人件費	6,513	正職員	1.0
会計年度職員人件費	0	前年度	0	会計年度職員	0.0		
トータルコスト	7,433	主な業務内容					

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町民及び町内事業所
事業の目的 (なんのために)	健診やレセプトデータ、介護保険データなどを分析し、町の健康課題を見つけ、解決のための施策を鳥取大学と連携して検討を行うほか、健康経営の推進、政策間連携の検討などから、幅広い世代の町民の健康に対する意識を向上させ実践を目指すことにより、健康寿命の延伸を図ります。
事業の内容 (どうやって)	<p>○健康寿命延伸事業アドバイザー 120千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の健康寿命延伸に関する事業の推進にあたり、鳥取大学医学部の教授等によるアドバイスを受け実施することにより、効果的な事業の展開を目指します。</li> <li>報償金 @20千円×6回</li> </ul> <p>○【新】健康増進・介護予防事業にかかる先進地との政策間連携の検討 250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の取り組みに共通するところを有する、かつ先進的に取り組んでいる兵庫県多可町の取り組みを参考に政策間連携を含めた健康増進・介護予防事業を展開するため、視察および関係する団体、町民と取り組みの実施に向けた検討などを行います。</li> <li>報償費 124千円      旅費 122千円      需用費 1千円</li> <li>借上料 3千円</li> </ul> <p>○【拡充】コンディショニングコーディネーター指導内容の記録 100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年目となるコンディショニングコーディネーターの運動指導を持続可能なものとして指導員を養成するための教材等の作成にあたり、指導内容の記録（DVD作成）などを行います。委託料 100千円</li> </ul> <p>○【新】健康経営支援事業 450千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営の取り組みを希望する町内事業所に支援を行い、横展開を図ることで、町内事業所に対し健康経営の推進を図り、若年層の健康増進を図ります。</li> <li>・支援だけでなく役場も健康経営の取り組みを行うことで、率先して健康経営推進に努めます。</li> <li>負担金、補助及び交付金 450千円      中小規模事業所 @200千円×1事業所</li> <li>健康経営総合支援モデル事業補助金 450千円      大規模事業所 @250千円×1事業所</li> </ul>

前年度からの改善点等	健康経営の推進については、取り組みに対し助成をすることで、実践的な取り組みを促します。先進的な取り組みを行っている自治体の取り組みを視察し、実施に向けた検討を行います。
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 109="" 124"="" 258="" 51="" data-label="Section-Header" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <h4>4 事業達成度と数値目標</h4>

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎 KPI	指標	健康寿命 1 歳延伸を行う。(平成27年度末比較)				
		年度	28	29	30	元	2
		指標	0.25	0.50	0.75	1.00	1.25
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
週2回以上汗をかく運動をする者の割合	%	目標	40	45	50	60	60
		実績	27.4	36.8	35.4	35.3	
		達成率	68.5%	81.8%	70.8%	58.8%	
1日1回30分以上の歩行をする者の割合	%	目標	40	45	50	60	60
		実績	27.6	28.1	27.9	31.3	
		達成率	69.0%	62.4%	55.8%	52.2%	

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	971	0	0	0	0	971	685	
令和元年度	1,148	0	0	0	0	1,148		
令和2年度	920	0	0	500	0	420		
前年度増減	-228	0	0	500	0	-728		



# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

一般会計

事業番号	576	事業名	放課後健全育成事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
担当課	子育て応援課		担当係	こども未来			
総合計画	基本理念	健やかで思いやりのあるまちづくり			基本テーマ	児童福祉・子育て支援対策の充実	
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ	
	重点項目	2	子どもを産み育てやすい町づくりの実現			重点項目	
	施策					施策	
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目 1 児童福祉総務費
事業期間	開始	平成16年度		終了			実施主体 <input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	11,999	2,602	2,975	6,414	0	8	利用料 5,145千円 多世代交流施設利用料 269千円 ふるさと未来夢基金 1,000千円
正職員人件費	1,628	前年度	-	正職員年間人件費	6,513	正職員	0.3
会計年度職員人件費	28,522	前年度	-			会計年度職員	12.6 (34人)
トータルコスト	42,149	主な業務内容		放課後児童クラブの運営			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	小学校に就学する児童で、保護者のいずれもが放課後に保護することができないと認められる者、かつ同居の親族が当該児童を保護することができないと認められる者。
事業の目的 (なんのために)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用し、適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る。
事業の内容 (どうやって)	<p>○放課後児童クラブ管理費（町立4ヶ所） 3,748千円 町立児童クラブを適正に管理・運営します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報償費 12千円 行事等指導員謝礼</li> <li>・ 需用費 2,899千円 消耗品費422千円、燃料費105千円、光熱水費1,149千円 修繕料1,223千円、</li> <li>・ 役務費 171千円 通信運搬費120千円、手数料12千円、火災保険料39千円</li> <li>・ 委託料 53千円 多世代交流施設火災報知器保守点検委託料 53千円</li> <li>・ 使用料及び貸借料 549千円 下水使用料（多世代交流施設）319千円 賃借料（多世代交流施設駐車場）230千円</li> <li>・ 原材料費 10千円 砂場用砂（浦安）10千円</li> <li>・ 備品購入費 54千円 各クラブ備品</li> </ul> <p>○【新】長期休業期間放課後児童クラブ 2,607千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ （夏期・冬期・春期）児童クラブ運営業務委託料</li> </ul> <p><b>1 背景</b> 現在、各小学校単位で放課後児童クラブを実施しているが、申込みが多いため高学年の利用は難しい。 ニーズ調査結果から、高学年の長期休暇中の利用ニーズが高い。</p> <p><b>2 実施概要</b> 長期休暇期間（春休・夏休・冬休）のみの利用者を対象とした児童クラブの開設 町内 1か所 <span style="color: red;">【場所 まなびタウンとうはく】</span></p> <p><b>3 実施方法</b> 業務委託</p> <p><b>4 利用料</b> 夏期 6,000円 冬期 1,500円 春期 3,000円 《参考 通常開設児童クラブ》 2,000円/月 8月のみ4,000円 土曜日利用 +500円/月</p> <p><b>5 補助金</b> 373千円（鳥取県放課後児童健全育成事業費交付金） <small>対象事業基準額の1/2</small></p> <p>○しおかぜクラブ（赤碕保育園）放課後健全育成補助金 5,644千円</p>

前年度からの改善点等	・ ニーズ調査の結果に基づき、長期休業期間中の児童クラブを開設
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 112="" 127"="" 258="" 51="" data-label="Section-Header" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;琴浦町放課後児童クラブ条例、琴浦町放課後児童クラブ規則&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <h4>4 事業達成度と数値目標</h4>

重要業績評価指標 KPI	最終KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	指標	利用対象児童(申込児童)の全員入所による家庭支援					
	年度毎KPI	年度	28	29	30	元	2
	指標		97(194/201名)	100(202/202名)	94(184/196名)	95(189/199名)	
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30	元(現時点)
利用対象児童(申込児童)の1~3年生の入所による家庭支援	%	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100
		達成率	-	-	-	-	-

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	30,771	8,021	9,579	5,531	0	7,640	30,136	
令和元年度	33,097	8,005	8,205	5,099	0	11,788		
令和2年度	11,999	2,602	2,975	6,414	0	8		会計年度職員に移行
前年度増減	-21,098	-5,403	-5,230	1,315	0	-11,780	0	

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	1198	事業名	子ども子育て支援事業		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	子育て応援課		担当係	こども未来係					
総合計画	基本理念	健やかで思いやりのあるまちづくり			基本テーマ	児童福祉・子育て支援対策の充実			
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	2	子どもを産み育てやすい町づくりの実現			重点項目			
	施策					施策			
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
事業期間	開始	平成26年度		終了			実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
令和2年度 事業費	121	0	0	0	0	121		
正職員人件費	651	前年度	-	正職員年間人件費	6,513	正職員	0.1	
会計年度職員人件費		前年度	-			会計年度職員		
トータルコスト	772	主な業務内容						すくすくプランの進捗状況の確認、子ども・子育て会議の開催等

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町民全般、町内関係機関 (子育て中の家庭、保育園・子ども園、学校、地域、関係機関・団体等)																									
事業の目的 (なんのために)	「琴浦すくすくプラン」に基づき、教育・保育及び子育て支援の充実に取り組み、子育てしやすいまちづくりを総合的かつ計画的に進めていきます。																									
事業の内容 (どうやって)	<p>○報酬 116千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て会議委員報酬 20千円 「町子ども・子育て支援計画（琴浦すくすくプラン）」の進捗状況の確認及び評価を行います。</li> <li>【新】ふなのえこども園あり方審議会委員報酬 96千円 園児数推移予測を踏まえ、ふなのえこども園等の運営及び施設について検討します。</li> </ul> <p>○消耗品 5千円</p>																									
	<p>【目的】 ふなのえこども園の園舎老朽化に伴い、園舎の建替えや園の適正数、運営を含め今後のあり方について検討を行う。</p> <p>【検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口ビジョンに基づく旧赤碓町区域の適正な規模</li> <li>ふなのえこども園の園舎建替え</li> <li>園の運営方法 等</li> </ul> <p>【検討方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふなのえこども園のあり方審議会開催 開催回数 3～4回 審議委員 14人程度 (大学教授・学識経験者・保護者代表・企業代表 など)</li> </ul>	<p>スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>4月</td><td>内部検討</td></tr> <tr><td>5月</td><td>・現状把握 ・方針検討</td></tr> <tr><td>6月</td><td></td></tr> <tr><td>7月</td><td></td></tr> <tr><td>8月</td><td>・諮問 審議会開催 (3～4回程度)</td></tr> <tr><td>9月</td><td>園の適正数、運営体制、 新園舎建設適正規模等 についての審議</td></tr> <tr><td>10月</td><td></td></tr> <tr><td>11月</td><td></td></tr> <tr><td>12月</td><td></td></tr> <tr><td>1月</td><td></td></tr> <tr><td>2月</td><td>・審議会答申 ・町長報告 ・議会報告 ・広報</td></tr> <tr><td>3月</td><td></td></tr> </table>		4月	内部検討	5月	・現状把握 ・方針検討	6月		7月		8月	・諮問 審議会開催 (3～4回程度)	9月	園の適正数、運営体制、 新園舎建設適正規模等 についての審議	10月		11月		12月		1月		2月	・審議会答申 ・町長報告 ・議会報告 ・広報	3月
4月	内部検討																									
5月	・現状把握 ・方針検討																									
6月																										
7月																										
8月	・諮問 審議会開催 (3～4回程度)																									
9月	園の適正数、運営体制、 新園舎建設適正規模等 についての審議																									
10月																										
11月																										
12月																										
1月																										
2月	・審議会答申 ・町長報告 ・議会報告 ・広報																									
3月																										
前年度からの改善点等	ふなのえこども園のあり方について検討																									
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ( )																									
規程の名称	琴浦町子ども・子育て会議条例																									

## 5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成30年度	23	0	0	0	0	23	17	
令和元年度	65	0	0	0	0	65		
令和2年度	121	0	0	0	0	121		
前年度増減	56	0	0	0	0	56	0	

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

一般会計

事業番号	120	事業名	リサイクル推進事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
担当課	建設環境課		担当係	環境衛生係					
総合計画	基本理念	安全で安心して暮らせるまち		基本テーマ	だれもが健康で、心豊かに暮らせるまちづくり				
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根づく	地方創生 ②	基本テーマ				
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり		重点項目				
	施策	2	安心・安全で暮らせるまちづくり		施策				
予算区分	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	じん芥処理費
事業期間	開始	平成16年度		終了			実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	3,339			2,500		839	ふるさと未来夢基金：2,500千円
正職員人件費	651	前年度	651	正職員年間人件費	6,513	正職員	0.1
会計年度職員人件費		前年度		会計年度職員			
トータルコスト	3,990	主な業務内容					リサイクルの推進、環境についての学習や講演会による普及啓発

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	全町民																														
事業の目的 (なんのために)	リサイクルの推進や環境学習、講演会などを通じて、環境への普及啓発を行い、環境に配慮した持続可能な町づくりをめざす。																														
事業の内容 (どうやって)	<p>○資源ごみ回収報償金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみを減量して再資源化を促進するため、資源ごみの回収量に応じて報償金を交付します。</li> <li>古紙類 500,000kg × 5円 = 2,500,000円</li> <li>金属類 10,000kg × 5円 = 50,000円</li> <li>ビン 7,000本 × 5円 = 35,000円</li> </ul> <p>○【新】SDG's推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コトウラ環境リサイクルの会と連携しながら、町民やこども園・小学校などを対象に学習会や講演会などを開催し、環境への意識を醸成し、環境に配慮した町づくりをめざします。</li> <li>講師謝金 100千円</li> <li>環境学習 30千円</li> <li>消耗品 60千円</li> <li>リサイクル推進のため、軟質プラスチックの回収ボックスを設置し、拠点回収を行います。</li> <li>収集運搬費 183千円</li> <li>処分費 51千円</li> <li>ごみ出し困難者の支援のため、ボランティアなどがいつでももって来ることができるごみ回収場所を設置します。</li> <li>165,000円 × 2箇所 = 330,000円</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>琴浦町の現状</p> <p>①可燃ごみ総量は減だが、1人当りでは増。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>環境に配慮した「持続可能な琴浦町」へ</p> <p>②ごみ処理費用は増加。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>③分別不十分、食品ロス多い。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>④大量のペット、生などが海岸へ漂着。道路や河川へのポイ捨てが流出。</p> </div> </div> <p><b>琴浦町の目標と対策</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>①ごみ出し困難者をなくし、ごみ処理の適正化</p> <p>②ごみの総量の減量、ごみの分別、リサイクルを推進</p> <p>③海岸漂着物の減量、不法投棄の減少</p> <p>④CO2削減、エネルギーの地産地消の促進</p> </div> <div style="width: 75%;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区分</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>新規</td> <td>プラスチック系ゴミの分別</td> <td>新たな分別(試行)「軟質プラスチック」食品スーパーに回収ボックス設置</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>新規</td> <td>ごみ出し場所の新設</td> <td>高齢者等のごみ出し困難者への対策として、ごみ収集業者の敷地内(駐車場)にごみ出し場所を新設する。</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>充実</td> <td>小学校等への環境学習実施</td> <td>コトウラ環境リサイクルの会と連携して、小学校等への環境学習を実施。家庭からのリサイクルの推進によるごみ減量に取組む。</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>新規</td> <td>町民向け環境学習講演会</td> <td>食品ロスやプラスチックごみ対策など環境問題に係る講演会を開催し、普及啓発を行う。</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計</td> <td>754</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	No.	区分	項目	内容	予算額(千円)	1	新規	プラスチック系ゴミの分別	新たな分別(試行)「軟質プラスチック」食品スーパーに回収ボックス設置	234	2	新規	ごみ出し場所の新設	高齢者等のごみ出し困難者への対策として、ごみ収集業者の敷地内(駐車場)にごみ出し場所を新設する。	330	3	充実	小学校等への環境学習実施	コトウラ環境リサイクルの会と連携して、小学校等への環境学習を実施。家庭からのリサイクルの推進によるごみ減量に取組む。	90	4	新規	町民向け環境学習講演会	食品ロスやプラスチックごみ対策など環境問題に係る講演会を開催し、普及啓発を行う。	100	合計				754
No.	区分	項目	内容	予算額(千円)																											
1	新規	プラスチック系ゴミの分別	新たな分別(試行)「軟質プラスチック」食品スーパーに回収ボックス設置	234																											
2	新規	ごみ出し場所の新設	高齢者等のごみ出し困難者への対策として、ごみ収集業者の敷地内(駐車場)にごみ出し場所を新設する。	330																											
3	充実	小学校等への環境学習実施	コトウラ環境リサイクルの会と連携して、小学校等への環境学習を実施。家庭からのリサイクルの推進によるごみ減量に取組む。	90																											
4	新規	町民向け環境学習講演会	食品ロスやプラスチックごみ対策など環境問題に係る講演会を開催し、普及啓発を行う。	100																											
合計				754																											

前年度からの改善点等	
根拠法令等	■法令(義務) □法令(任意) ■条例 ■規則 □訓令・要綱 □なし □( )
規程の名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、琴浦町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例・規則

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎 KPI	指標					
		年度	28	29	30	元	2
	指標						
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
		目標					
		実績					
		達成率					

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	2,651			2,513		138	2,628	ふるさと納税、リターナブル皿使用負担金
令和元年度	2,595			2,500		95		ふるさと納税
令和2年度	3,339			2,500		839		ふるさと納税
前年度増減	744	0	0	0	0	744		

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	教育総務課		担当係						
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ	1	コトウラで育む	
	重点項目	3	子どもの能力を伸ばす教育環境の充実			重点項目	4	ふるさとを愛する教育の充実	
	施策	1	安心して学べる学校環境の充実			施策	1	ふるさとへの誇りと愛着の醸成	
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業期間	開始			終了	-	実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他		

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	51,132		11,256	7,762		32,114	林原育英奨学基金 3,180千円 林原育英奨学金貸与元金 480千円 ふるさと未来夢基金 4,100千円 基金利子 2千円
正職員人件費	1,954	前年度	1,952	人件費/人(千円)		6,513	正職員 0.3
会計年度人件費	23,675	前年度	-				会計年度職員 19.0
トータルコスト	76,761	主な業務内容		事務局・学校の運営、教育環境の整備・管理			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	小学校5校 児童数873人、中学校2校 生徒数440人、教職員数180人
事業の目的 (なんのために)	教育委員会事務局及び学校全般に係る事務を処置します。
	<p>○教育ネットワーク保守委託料 <span style="float: right;">2,640千円</span> 小中学校教育ネットワーク保守業務の委託を行います。</p> <p>○特別支援学校通学支援業務委託料 (10/10県) <span style="float: right;">7,852千円</span> 倉吉養護学校に通学する介助の必要な児童生徒に対して、送迎を行うことにより、当該児童生徒保護者の送迎に係る負担を軽減します。</p> <p><b>【新】</b> ○学校カイゼン推進校支援委託業務委託料 <span style="float: right;">2,607千円</span> 教職員の働き方を改善するため、業務内容の調査を行い、改善の指導・助言を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><b>業務削減と効率化を目指し、モデル校を決め、コンサルタント業者の分析、提案を有効活用する。その後、各校に広げる。(委託料:2,607千円)</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; background-color: #e6f2ff; padding: 5px;"> <p><b>◆学校現場の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務45h/月以上の者 中58.2%、小34.2%(県調査R1.9月)</li> <li>・陸上・水泳練習、文化祭、学習発表会の時期に時間増</li> <li>・土日の部活動の時間長</li> <li>・一部の教員へ校務分掌の偏り</li> <li>・支援会議増</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; background-color: #ffe6e6; padding: 5px;"> <p><b>◆時間外勤務削減に向けた現在の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活時程、学校行事の見直し</li> <li>・会議は60分以内、勤務時間内に設定</li> <li>・教員の意識改革。特定の曜日に早く帰る日を設定等。</li> <li>・部活動について、ガイドラインを設定し、週2日の休養日を設ける。</li> <li>・部活動指導員、学校業務アシスタントの配置(地教委)</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">(コンサルタント業者の調査方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の日常の動きと職場の状況についてコンサルが現地調査を実施。</li> <li>・職員室、教室等を中心に校内をコンサル数人が個別に動き、それぞれ独自の視点で観察調査。必要に応じて個々の教員に聞き取り調査を行う。</li> </ul> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">各校行き詰まり感がある</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #ffe6e6;"> <p style="text-align: center;">時間外勤務45h/月以内を達成するよう、多忙解消のポイントを整理し、具体的な取組を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px 15px;">意識改革</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px 15px;">整理整頓</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px 15px;">情報共有</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px 15px;">役割分担</div> </div> </div>

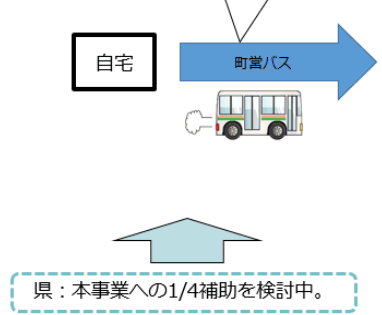
事業の内容  
(どうやって)

- 教職員校務用パソコン借上料 10,944 千円  
教職員の校務用パソコンを維持・管理し、校務の効率化を行います。
- 少人数学級協力金負担金 【充実】 11,000 千円  
県基準の小学校1・2年で30人学級、中学校1年で33人学級、小学3～6年と中学2・3年を1学級35人以下とします。(八橋小5年、赤碕小4・5年、東伯中3年)
- 学校業務支援システム負担金 1,291 千円  
教職員の業務支援システムを維持管理し、校務の効率化を行います。
- 【新】○高校生通学費補助金 6,359 千円  
子育て世帯への支援策として1ヶ月の通学費が7,000円を超える部分を町と県で1/2ずつ補助します。

### 高校生バス通学費補助金【既存】 (町営バス定期代補助)

予算額：265千円

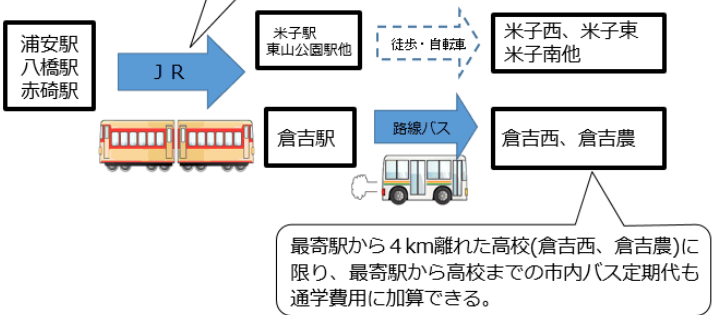
中学校バス通学地域(学校から4km以上離れた地域)に在住の学生については町営バス定期券購入費の8割を補助する



### 高校生通学費補助金【新規】

予算額：6,359千円

J R及び路線バスの通学定期代の合計が月額7,000円を超えた額について町と県が1/2ずつ補助する



(例：浦安駅からJRと路線バスを利用して倉吉西高に通学する場合)  
1ヶ月あたり  
 { JR定期券代：6,750円(浦安⇔倉吉)  
 市内路線バス定期代：10,890円(倉吉⇔西倉吉)  
 【合計】17,640円  
 ◎助成額：10,640円(=17,640円-7,000円)

- 【新】○フリースクール利用料補助金 480 千円  
経済的理由でフリースクールを利用できないことがないよう利用料を補助します。 県1/3補助

事業の概要	
フリースクールへ通学させたいけれど、経済的な事情により通学が困難な小学生・中学生がいる家庭に対し、フリースクールの授業料(月額上限2万円)を申請に基づき町が助成します。	
補助対象	
対象施設	「不登校児童生徒を指導する民間施設ガイドライン」に準拠して、鳥取県教育委員会により「本県で出席の扱いが考えられる学校外の施設」として認定されているフリースクール(鳥取市2校、米子市1校、北栄町1校)
対象者	保護者の年収が590万円未満
対象経費	授業料 ※入学金、教材費、通学に係る交通費は対象外
補助金額	授業料×100% 上限20,000円/月【負担割合:県1/3(6,600円/月) 町2/3(13,400円/月)】

- 上記以外の経費 7,959 千円  
報償金11千円、旅費447千円、交際費20千円、消耗品費(一般事務費)193千円、燃料費44千円、修繕料20千円、通信運搬費9千円、手数料(小中学校職員健康診断等)1,533千円、自動車保険料13千円  
負担金(就学指導推進協議会、適応指導教室運営等)1742千円、高校生バス通学補助金265千円  
貸付金(奨学金)3,180千円、積立金(奨学基金)480千円、聖郷小図書基金積立金1千円  
林原育英奨学基金利子積立金1千円

前年度からの改善点等	
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 111="" 127"="" 258="" 51="" data-label="Section-Header" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <h4>4 事業達成度と数値目標</h4>

重要業績評価指標 KPI	最終KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	指標						
	年度毎KPI	年度	28	29	30	元	2
	指標						
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
	千円	目標					
		実績					
		達成率					

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	65,636		4,060	3,194		58,382	64,984	林原育英奨学基金 他
令和元年度	72,352		7,386	7,732		57,234		林原育英奨学基金 他
令和2年度	51,132		11,256	7,762		32,114		林原育英奨学基金 他
前年度増減	-21,220	0	3,870	30	0	-25,120	0	



# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	1484	事業名	琴浦町未来人材奨学金返還支援事業		事業区分	■新規 □継続			
担当課	教育総務課		担当係	指導係・学務係					
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ	1	コトウラで育む	
	重点項目	3	子どもの能力を伸ばす教育環境の充実			重点項目	4	ふるさとを愛する教育の充実	
	施策	1	安心して学べる学校環境の充実			施策	1	ふるさとへの誇りと愛着の醸成	
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業期間	開始			終了	-	実施主体	■琴浦町 □その他		

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	8,601			8,601		0	ふるさと未来夢基金 6,800千円 琴浦町未来人材奨学金返還支援基金 1,800千円 基金利子 1千円
正職員人件費	651	前年度	-	人件費/人(千円)	6,513	正職員	0.1
会計年度人件費		前年度	-			会計年度職員	0.0
トータルコスト	9,252	主な業務内容 関係機関との連絡調整、体制整備の支援、連携体制づくり					

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	I J U ターンの若者
事業の目的 (なんのために)	大学等で修学した者の、県内就職又は就業を促進するとともに、若者の琴浦町への I J U ターン及び定住を図り、地域で活躍する人材を確保します。

事業の内容 (どうやって)	○補助金	1,800 千円
	県の奨学金返還助成制度と併用することで、返還の実質負担額がなくなります。 奨学金返還支援金 1,800千円 180千円×10人	
	○積立金	6,800 千円 1 千円

## 琴浦町未来人材育成奨学金助成制度(新設)

大学等で修学した者の、県内就職または就業を促進するとともに、若者の琴浦町への I J U ターン及び定住を図り、地域で活躍する人材を確保することを目的とする。

### ◎支援制度の対象者

- ・鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の対象者で、**琴浦町に定住する者**
- ・就職先は県内の指定業種

1人 年間 最大 18万円助成

R2年度 18万円×10人定住=180万円

**8年間 最大 288万** 144万(琴浦町)+144万(鳥取県) の助成

### 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の概要

- 1 対象者  
(1)奨学金の貸与を受けており、将来返還の予定であるか又は返還中の者であること。  
・日本学生支援機構の奨学金 ・鳥取県育英奨学金  
・琴浦町林原育英奨学金
- (2)鳥取県内の次の対象業種への就業を希望する者であること。  
① 製造業 ② 情報通信業 ③ 薬剤師の職域 ④ 建設業、建設コンサルタント業 ⑤ 旅館ホテル業 ⑥ 民間の保育士・幼稚園教諭の職域 ⑦ 農業、林業及び漁業
- (3)鳥取県内に定住することを希望する者であること。  
大学等を卒業後に鳥取県内の対象業種に正規雇用により就職し、8年間継続して勤務する見込みであること。なお、勤務場所は県内の事業所とし、県内に定住する見込みであること。

前年度からの改善点等	令和2年度開始の新規事業。
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 111="" 127"="" 258="" 51="" data-label="Section-Header" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;規程の名称&lt;/td&gt; &lt;td&gt;&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <h4>4 事業達成度と数値目標</h4>

重要業績評価指標 KPI	最終KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	指標						
	年度毎KPI	年度	28	29	30	元	2
	指標						
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
	千円	目標					
		実績					
		達成率					

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	0					0	0	
令和元年度	0					0	0	
令和2年度	8,601			8,601		0		琴浦町未来人材育成基金 他
前年度増減	8,601			8,601		0		

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	262	事業名	一般教育振興費(配分外)		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	教育総務課		担当係						
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	3	子どもの能力を伸ばす教育環境の充実			重点項目			
	施策	1	安心して学べる学校環境の充実			施策			
予算区分	款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業期間	開始			終了	-		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	59,554	863		31,600		27,091	ふるさと未来夢基金 31,600千円
正職員人件費	3,257	前年度	6,505	人件費/人(千円)		6,513	正職員 0.5
会計年度人件費		前年度	-				会計年度職員 0.0
トータルコスト	62,811	主な業務内容		小学校の学校経営・教育振興に対する事務、就学援助			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	小学校5校 対象児童数873人
事業の目的 (なんのために)	小学校教育の振興のため、必要な施策を講じることにより小学校教育の充実と義務教育の円滑な実施を目指します。

【特記事項】  
**○報償費 報償金** 518千円  
 各学校の課題解決や教員の指導力向上や授業改善のため、大学等の教育専門機関の教授等を講師として招聘し、授業研究や研修等を行う。

学校活性化事業【新規】		
学校名	学校の抱えている課題・背景	目指す効果
八橋小	【学校集いつくり推進事業】講師謝金112千円 旅費73千円 消耗品17千円 講師：菊池省三(小学校教諭)、安達義昭(元淀江小校長) ○対人関係の未熟さにより、いじめやトラブルがよく起こる。 ○教育力のある学級集団を形成しにくい。学力向上に繋がっていない。 ○令和4年度に中部小学校教育研究会で、特別活動(よりよい集いつくり等)の研究発表を行う。	○教育力のある学級集団が形成され、いじめやトラブルの減少と学力向上。 ○児童が集団や自己の生活上の課題を解決する取り組みを通して、多様な他者と協働する力がつく。
浦安小	【「活用力向上」事業】講師謝金60千円 旅費144千円 講師：榎山敏郎(大妻女子大准教授)、盛山隆雄(筑波大付小教諭) ○国語と算数における活用力が全国平均点と比較して弱く、児童が学んだことを主体的に活用できる授業改善が必要である。 【「ふるさと学習充実」事業】講師謝金15千円 ※農林課補助事業 ○ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思う児童を育てたいということを目的にこれまで取り組んでいる。令和2年度も引き続き継続して取り組みたい。	【「活用力向上」事業】 ○国語と算数における児童の活用力向上。 【「ふるさと学習充実」事業】 鳥取県の「とっとり県民参加の森づくり推進事業」の補助金を活用して木育授業を行い、木工を体験することで木のすばらしさを知り、児童がふるさとの自然や生態系の源である森林を大切にすることを養う。
聖郷小	【国語科説明的文章「読むこと」研究事業】講師謝金60千円 旅費145千円 講師：奥水かおり(元玉川大教授) ○児童が友だちの考えを聞いて議論したり、新たな課題を設定したりして、より高め合い深い合う力が十分である。 ○診断テスト、N.R.Tの国語科の結果において、「読むこと」、「語句・語法」の得点が高い傾向にある。 ○教職員の若年層化しているため、授業力とその基盤となる学校経営力を向上させたい。	【教員】 ○つけたい力の明確化と言語活動を位置つけた単元構成の仕方、互いの考えを伝え合い、高め合う場面の工夫の仕方、思考判断を促す学習課題や発問の方法が身につく。 【児童】 ○国語で表現された内容や事柄を正確に理解する力、理解したこと、経験、思い、考え等を適切に表現できる力が育つ。
赤碕小	【ふるさとの未来を創る赤碕っ子育成事業】講師謝金90千円 旅費85千円 講師：前田一誠(京大准教授) ○昨年度まで、生活科や総合的な学習の時間について校内研究を行い、児童が協働的に探求する力をつけてきたが、基礎的・基本的な知識や粘り強く学習に取り組む力が弱い。	○算数科の授業改善を進め、算数をとおして学び合う楽しさを実感し、主体的に学ぶ子どもを育成する。
船上小	【NIEによる未来につながる児童の思考力・表現力等の育成事業】 講師謝金：6千円 消耗品：80千円 講師：日本海新聞社職員(2人) ○国語の読解力が低く、一度読んだ文章を理解したり、資料と比較して考えたりする力が弱い児童が多い。 ○最近の情勢を知らない、関心が薄い児童が多い。 ○自分の意見の理由や根拠が明確ではない児童が多い。 【「ふるさとを大切に育てる」船上委事業】 講師謝金：30千円 消耗品：30千円 講師：地域の人たち(10人程度) ○校区の産業や特色について、下学年を中心に詳しく知らない児童がいる。 ○地域の人からふるさとを大切に育ててほしいと強い要望がある。	【NIEによる未来につながる児童の思考力・表現力等の育成事業】 ○世の中の出来事に興味関心をもつ児童が増加する。 ○読める漢字が増えたり、使える言葉が豊富になったりするなど、基礎的言語能力の育成を図ることができる。 ○読解力や思考力・判断力・表現力の向上を図ることができる。 【「ふるさとを大切に育てる」船上委事業】 ○ふるさとを愛する児童の育成。 ○ふるさとの自然を愛する児童の育成。 ○ふるさとの担い手としての自覚を持つ児童の育成。

○使用料及び賃借料 21,255千円  
 授業で使用する情報機器の借上料 19,676千円  
 児童が各種大会の参加するための業者バス 1,179千円  
 小学校農業体験梨園借上料 400千円

○工事請負費 2,026千円  
**【新】**小学校普通教室液晶プロジェクター壁掛け設置工事  
 八橋・聖郷小の普通教室に既存の液晶プロジェクター(14台)を壁掛け設置する。

○備品購入費 22,846千円  
**【新】**電子黒板機能付液晶プロジェクター購入及び取付 10,590千円  
 浦安・赤碕・船上小の普通教室に液晶プロジェクターを新規で購入し壁掛け設置する。(27台)  
 教師用指導書・教科書の整備 9,952千円  
 学習指導要領の改訂に伴い教師用指導書及び教科書を整備します。

事業の内容  
(どうやって)

【新】指導者用デジタル教科書の整備 2,304千円  
 児童の授業への理解・関心を深めると共に、支援が必要な児童に対して視覚的支援を行います。  
 教材作成等の時間削減も期待でき、教師の負担軽減を図ります。  
 【全小学校に導入】1・2年に国語と算数(4年版)、5・6年に外国語(4年版)を導入します。  
 【モデル的に導入】国語・算数・理科3~6年(1年版)、社会5・6年(1年版)を推進的役割を担う  
 教員(14人)にモデル的に導入します。

**○指導者用デジタル教科書**  
 教科書画面、挿絵を大型装置で 黒板に写したり、ワークシートや掲  
 示物などの授業準備が簡単にできるプリント機能など様々なコンテン  
 ツを掲載。

**導入のメリット**

**児童の学習理解を深める！支援が必要な児童にも活用！**  
 ○視覚・音声化による理解の深まり、広がり  
 ○資料動画や写真、学習コンテンツも掲載  
 教科書に沿った動画資料も豊富など授業の幅が広がる！

**先生の教材研究や授業準備の負担を軽減！**  
 ○教材中の挿絵(図)や写真を使い簡単にオリジナルの  
 学習プリントや教材を作成できる  
 授業に使う教材づくりの時間削減につながる

令和2年度予算 2,304,000円

◆ 全ての小学校に導入

国語 1,2年(4年版)  
 算数 1,2年(4年版)  
 外国語 5,6年(4年版)

○国語・算数(1・2年)  
 掛図の代用として、指導者用デジタル教科書を導入する。  
 ○外国語(5・6年)  
 新しい教科書導入であること、昨年まで文部科学省作成の指  
 導者用デジタル教科書の活用経験があることをふまえ、指導  
 書とセットのものを導入する。

◆ モデル的導入(推進者による実践)

国語・算数・理科 3~6年(1年版)  
 社会 5,6年(1年版)  
 実践意欲ある教員(14名)を募集し、活用研究を行う。

＜推進計画＞  
 R2.4月 推進者決定 8月 デジタル教科書情報交換会  
 10月 授業公開 12月 成果報告会

○補助金 2,210千円

小中学校教育研究会補助金 315千円  
 教育研究会に補助を行い、教職員の資質向上と連携を目的とした、教育内容や教育環境の  
 充実と均衡化を行います。(ICT研修、特別支援教育研修)  
 給食費補助金 1,773千円  
 児童の学校給食の費用の一部を補助し、保護者の負担軽減を行う。  
 修学旅行引率者補助金(教職員 23人) 122千円

○扶助費 9,148千円

就学援助費 対象者90人 7,330千円  
 (内数：新入学児童生徒学用品費入学前支給対象者 15人 766千円)  
 特別支援教育就学奨励費 対象者 43人 1,718千円  
 【説明】経済的な理由により、学校で教育を受けることが困難な児童や特別支援学級で学習  
 する児童の保護者に学用品や給食費などを援助し就学の支援を行います。  
 通学援助費 100千円  
 大成地区児童(1家庭)の通学に係る経費を援助し、遠距離就学の支援を行います。

○上記以外の経費 1,551千円

記念品(入学・卒業記念品) 324千円、旅費 477千円、消耗品費 270千円、  
 委託料(青少年巡回公演) 426千円、負担金(県図書館協議会、中部特別支援教育研究会、  
 中部小学校体育連盟) 54千円

前年度からの改善点等 小学校の普通教室に液晶プロジェクターを壁掛け設置することにより、児童の学習の理解がさらに深まることが期待できます。

根拠法令等  法令(義務)  法令(任意)  条例  規則  訓令・要綱  なし  ( )

規程の名称 琴浦町就学援助費支給に関する要綱 など

4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)				
	年度毎 KPI	指標	28	29	30	元 2

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
	千円	目標					
		実績					
		達成率					

5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成30年度	20,959	581		7,000		13,378	20,938	ふるさと未来夢基金 他
令和元年度	46,911	575		12,001		34,335		ふるさと未来夢基金
令和2年度	59,554	863		31,600		27,091		ふるさと未来夢基金
前年度増減	12,643	288	0	19,599	0	-7,244	0	

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	280	事業名	一般教育振興費(配分外)		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	教育総務課		担当係						
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ	1	コトウラで育む	
	重点項目	3	子どもの能力を伸ばす教育環境の充実			重点項目	4	ふるさとを愛する教育の充実	
	施策	1	安心して学べる学校環境の充実			施策	2	文化・芸術・遊びを通じた子どもの心の育成	
予算区分	款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業期間	開始			終了	-	実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他		

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	23,742	532	155	7,900		15,155	ふるさと未来夢基金 7,900千円
正職員人件費	3,257	前年度	6,505	人件費/人(千円)		6,513	正職員 0.5
会計年度人件費	1,399	前年度	-				会計年度職員 3.0
トータルコスト	28,398	主な業務内容		中学校の学校経営・教育振興に対する事務、就学援助			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	中学校2校 対象児童数440人
事業の目的 (なんのために)	中学校教育の振興のため、必要な施策を講じるとともに、遠距離通学に対する補助や就学援助など中学校教育の充実と義務教育の円滑な実施を目指します。
事業の内容 (どうやって)	<p>【特記事項】</p> <p>○借上料 <span style="float: right;">9,837千円</span></p> <p>部活動の大会出場に必要なバスの借上料 2,355千円 生徒が授業で使用するパソコンの借上料 7,415千円 そば栽培体験にかかる借上料 67千円</p> <p>○補助金 <span style="float: right;">2,553千円</span></p> <p>・遠距離通学補助金 1,322千円 ・給食費補助金 894千円 ・修学旅行引率者補助金 255千円 ・英語検定補助金 82千円 3,900円×1/2×42人(東伯中赤碕中3年生125人×1/3)</p> <p>○各種大会生徒派遣費交付金 <span style="float: right;">700千円</span></p> <p>中国大会以上の大会に出場する生徒に対し、旅費、参加費等を援助します。(保護者負担の軽減)</p> <p>○就学援助費 <span style="float: right;">9,041千円</span></p> <p>就学援助費 対象者 49人 8,031円 (内数: 新入学児童生徒学用品費入学前支給対象者 18人 1,080千円) 特別支援教育就学奨励費 対象者 17人 1,010千円 経済的な理由により、学校で教育を受けることが困難な生徒や特別支援学級で学習する生徒の保護者に、学用品や給食費などを援助し就学の支援を行います。</p> <p>○上記以外の経費 <span style="float: right;">1,611千円</span></p> <p>報償金426千円、旅費431千円、消耗品費(総合的な学習)89千円、 保険料(職場体験学習)97千円、委託料(スクールバス校外学習運行)120千円、 教師用指導書 11千円 負担金(図書館協議会、体育連盟他)437千円</p> <p>【説明】○要保護児童生徒援助費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象経費: 学用品費、医療費</li> <li>・補助率: 国1/2、町1/2</li> <li>○特別支援教育就学奨励費補助金</li> <li>・補助対象経費: 学用品費、給食費、修学旅行費等</li> <li>・補助率: 国1/4、町1/4、保護者負担分1/2</li> </ul>

## 学校活性化事業【新規】

学校名	学校の抱えている課題・背景	目指す効果
東伯中	<p>【「効果のある指導の組織展開」事業】講師謝金60千円 旅費70千円 講師：久我直人(鳴門教育大学教授)</p> <p>○アクセルはあるがブレーキがないという生徒、親からの愛着を形成されずに成長してきている生徒が多くみられる。また、規範意識が身につけていない生徒もいて、ネガティブエネルギーを発散している生徒が目立つ。このような生徒への対応について教職員全体で取り組んでいるが、劇的な効果はまだあらわれていない。</p>	<p>○教職員が生徒に対してより効果的な指導方法について習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自尊感情の育成</li> <li>・規範意識の育成</li> <li>・ネガティブエネルギーをポジティブエネルギーへ変える対応</li> </ul>
赤碓中	<p>【赤碓中校区PTA推進事業(小中連携)PTAを中心としたメディア使用への取り組み】 消耗品：80千円</p> <p>○メディア(ゲーム)の長時間使用による生活リズムの乱れ。 ○オンラインゲーム内でプレイヤー同士による不適切な発言による生徒間でのトラブル。</p>	<p>○生徒がメディア(ゲーム)を節度ある利用となるようにする。 ○安定した生活リズムで過ごし、規則正しく落ち着いた生活になる。</p>

前年度からの改善点等

根拠法令等  法令(義務)  法令(任意)  条例  規則  訓令・要綱  なし  ( )

規程の名称 琴浦町就学援助費支給に関する要綱 など

### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	指標	年度	28	29	30	元	2
	年度毎 KPI	指標					
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
	千円	目標					
		実績					
		達成率					

### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	17,869	293	155	7,000		10,421	16,818	ふるさと未来夢基金
令和元年度	30,504	325	1,176	7,500		21,503		ふるさと未来夢基金
令和2年度	23,742	532	155	7,900		15,155		ふるさと未来夢基金
前年度増減	-6,762	207	-1,021	400	0	-6,348	0	

# 令和 2 年度 事業説明書


## 1 基本情報

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係					
総合計画	基本理念	誇り高く豊かな人を育むまちづくり			基本テーマ	ふるさとを愛する教育の充実			
地方創生 ①	基本テーマ	1	コトウラで育む		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	4	ふるさとを愛する教育の充実			重点項目			
	施策	1	ふるさとへの誇りと愛着の醸成			施策			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	生涯学習センター運営費
事業期間	開始	平成16年度		終了	-		実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	32,409			4,802		27,607	生涯学習センター使用料ほか
正職員人件費	6,513	前年度	9,758	正職員年間人件費	6,513	正職員	1.0
会計年度職員人件費	2,088	前年度	2,022			会計年度職員	1.0
トータルコスト	41,010	主な業務内容		生涯学習センター管理			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	学習センター利用者（町民、県民、企業など）												
事業の目的 (なんのために)	子どもから高齢者まで町民の皆さんの生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行います。												
事業の内容 (どうやって)	<p>○生涯学習センター管理運営 32,409千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の皆さんの様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習活動の拠点としての役割を担います。そのため、学習活動ができる多様なスペースを提供し、町民の生涯学習活動を支援します。</li> <li>・老朽化している施設の長寿命化に向けて、空調設備の基本設計を委託します。</li> </ul> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">消耗品費 908千円</td> <td style="width: 50%;">燃料費 3,399千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費 7,168千円</td> <td>修繕料 1,467千円</td> </tr> <tr> <td>手数料 296千円</td> <td>火災保険料 354千円</td> </tr> <tr> <td>委託料 17,337千円</td> <td>使用料 495千円</td> </tr> <tr> <td>借上料 434千円</td> <td>テレビ受信料 40千円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費 511千円</td> <td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <h3 style="color: blue; margin: 0;">1 まなびタウン空調設備更新基本設計</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■背景 設備全体が耐用年数を大幅に過ぎ、更新の時期を迎えている。</li> <li>■委託金額 3,850千円</li> <li>■内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>①空調システム案の作成 図書館等プラン変更や使用状況を勘案</li> <li>②概算工事費の算出</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	消耗品費 908千円	燃料費 3,399千円	光熱水費 7,168千円	修繕料 1,467千円	手数料 296千円	火災保険料 354千円	委託料 17,337千円	使用料 495千円	借上料 434千円	テレビ受信料 40千円	備品購入費 511千円	
消耗品費 908千円	燃料費 3,399千円												
光熱水費 7,168千円	修繕料 1,467千円												
手数料 296千円	火災保険料 354千円												
委託料 17,337千円	使用料 495千円												
借上料 434千円	テレビ受信料 40千円												
備品購入費 511千円													
前年度からの改善点等	利用者が気軽に立ち寄り交流できる場となるよう、情報の発信と施設の適切な管理に努めます。												
根拠法令等 規程の名称	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input type="checkbox"/> 法令(任意) <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input 499="" 520="" 955="" 969"="" data-label="Page-Footer" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;&lt;/td&gt; &lt;td&gt;琴浦町生涯学習センター条例・規則&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;/div&gt; &lt;div data-bbox="/> <p style="text-align: center;">38</p>												

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績 評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎 KPI	指標	利用者数及び利用料収入の増				
		年度	28	29	30	元	2
	指標		利用率のアップ	利用率のアップ	利用率のアップ	利用率のアップ	
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
施設利用者数	人	目標		—	49,392	51,387	51,387
		実績	41,136	51,186	40,594	36,037	
		達成率		—	—	—	—

#### 5 コストの推移

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		
平成30年度	127,138			4,548	82,900	39,690	127,693	生涯学習センター使用料
令和元年度	30,958			4,381		26,577		生涯学習センター使用料
令和2年度	32,409			4,802		27,607		生涯学習センター使用料
前年度増減	1,451	0	0	421	0	1,030		

#### 6 参考資料

<p>事業の抱える問題点</p> <p>開館20年を超過し、設備・内装の老朽化が進んでいます。施設の実態に合わせ、個別施設計画に基づく改修が必要です。</p>
---



# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	1440	事業名	特別史跡齋尾廃寺跡指定地買上事業	事業区分	■新規 □継続				
担当課	社会教育課	担当係	学芸文化係						
総合計画	基本理念	地域資源を生かした豊かなまち		基本テーマ	ふるさとの魅力を誇り生き生きと輝くひとつ				
地方創生 ①	基本テーマ	3	コトウラで輝く	地方創生 ②	基本テーマ				
	重点項目	1	豊かな自然と文化を活かした観光振興		重点項目				
	施策	1	自然・歴史・文化の継承と地域資源の活用		施策				
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
事業期間	開始	令和2年度		終了	令和3年度		実施主体	■琴浦町 □その他	

## 2 当該年度の事業費

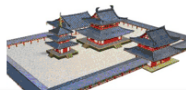
年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	93,651	74,920	6,243		11,200	1,288	国宝文化財等保存整備費補助金80%、鳥取県文化財等保存・保護事業費補助金(国庫補助残の1/3)(対象経費93,651千円)、一般補助施設整備等事業債充当率90%(対象経費12,488千円)
正職員人件費	5,210	前年度		正職員年間人件費	6,513	正職員	0.8
会計年度職員人件費	0	前年度	0	会計年度職員	0.0		
トータルコスト	98,861	主な業務内容		史跡の土地購入			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町民
----------------	----

事業の目的 (なんのために)	追加指定となった特別史跡齋尾廃寺跡の公有化を行うことで遺跡の確実な保護を図るほか、今後の活用・整備の取組を推進します。
-------------------	---

事業の内容 (どうやって)	<p><b>史跡買取り事業 93,651千円</b> 特別史跡齋尾廃寺跡の指定地のうち、令和元年度に追加指定となった土地を購入し、遺跡の保護・活用・整備の取組を行います。</p> <p>【新】土地購入費 90,078千円 【新】その他の経費(不動産鑑定業務、用地測量業務、需用費) 3,573千円</p>
------------------	--



**特別史跡齋尾廃寺跡**

白鳳期創建の古代寺院跡で、山陰地方で唯一の法隆寺式の伽藍配置をとる。仏頭等の塑像片が出しているほか、塔や金堂の基壇跡が現存し、古代地方寺院の様相を窺い、知ることができる重要な史跡。昭和27年3月29日に特別史跡に指定される。現在特別史跡は全国で62件、山陰地方唯一では齋尾廃寺跡が唯一。

**近年の取組**

平成29年度 保存活用計画策定  
平成30年度 寺院地北側発掘調査  
追加指定意見具申  
令和元年度 追加指定(40筆 35,935m<sup>2</sup>)



**齋尾廃寺跡保存活用事業**  
(令和2年度:93,651千円 うち国80%、県6.6%補助)

**令和2年度の取組**

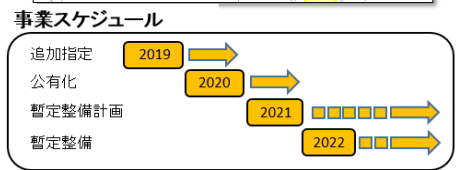
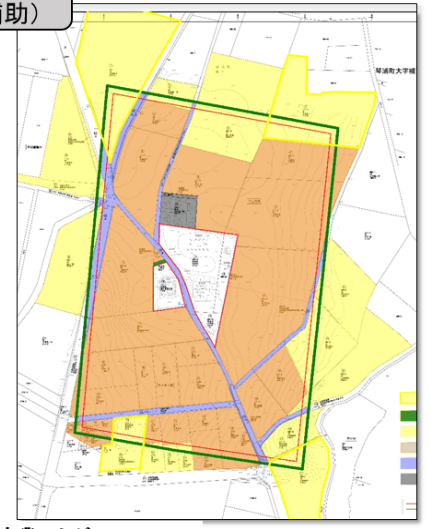
- 令和元年度追加指定のうち民地の買上げ 24筆 30,026m<sup>2</sup>  
4月 農振除外申請  
11月 農振除外、教育委員会同意  
12月 議会承認  
1~3月 租税控除申請 土地購入・物件移転契約  
嘱託登記 支払(登記後)
- 上記24筆のうち、地籍調査未実施地の用地測量 15筆 8,475m<sup>2</sup>
- 齋尾廃寺跡の縁辺部の追加指定(分筆による指定)18筆 7606.45m<sup>2</sup>  
※1筆(205.7m<sup>2</sup>)は指定同意が取れなかったため未申請。
- 予算内訳 土地購入費90,078千円 不動産鑑定委託料550千円  
用地測量委託料3,003千円 需用費20千円

**今後の取組**

- 地域交流イベントでの利用促進
- 令和3年度以降
- 地域の農産物を利用した古代食の試食会、農産物・特産品の物販などによる観光客集客
- 歴史・文化・自然が体験できるエコツアーの開発、自然体験イベントの実施
- 広域の歴史文化観光ルートの開発
- 「白鳳館」のガイダンス施設 便益・休息施設として再整備
- AR、VR等による展示・サイン整備

**令和2年度活用事業**

- 令和2年度の活用
- 古代山陰道ウォーク
- 古代まつり(体験イベント 県共催)
- グルメめぐりウォーク
- 白鳳館展示の充実
- グラウンドゴルフ(ほか)



前年度からの改善点等	
根拠法令等	■法令(義務) □法令(任意) □条例 □規則 □訓令・要綱 □なし □( )
規程の名称	文化財保護法

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎 KPI	指標	28	29	30	元	2
		指標					齋尾廃寺跡寺域の公有地化
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
		目標					
		実績					
		達成率					

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度						0		
令和元年度						0		
令和2年度	93,651	74,920	6,243		11,200	1,288		国宝文化財等保存整備費補助金、鳥取県文化財等保存・保護事業費補助金、一般補助施設整備等事業債
前年度増減	93,651	74,920	6,243	0	11,200	1,288		

#### 6 参考資料

事業の抱える問題点

--

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	329	事業名	図書館活動費		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
担当課	社会教育課		担当係	図書館			
総合計画	基本理念	誇り高く心豊かな人を育むまちづくり			基本テーマ	生涯学習の充実	
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根づく		地方創生 ②	基本テーマ	
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり			重点項目	
	施策	2	安全・安心に暮らせるまちづくり			施策	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目 6 図書館費
事業期間	開始	平成16年		終了	-		実施主体 <input checked="" type="checkbox"/> 琴浦町 <input type="checkbox"/> その他

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	18,578			3,328		15,250	ふるさと未来夢基金【地域】 図書館図書購入基金
正職員人件費	26,052	前年度	13,010	正職員年間人件費		6,513	正職員 4.0
会計年度職員人件費	16,356	前年度	21,060				会計年度職員 8.0
トータルコスト	60,986	主な業務内容 図書館管理、図書の購入など図書館運営に関する事務全般					

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町民全般																												
事業の目的 (なんのために)	図書資料の充実を図り、本に親しむ機会を提供するとともに、町民の居場所、課題解決や生涯学習の場を提供します。また、保育園・こども園・小・中学校・公民館などと連携をとり読書活動の推進を図ります。																												
事業の内容 (どうやって)	<p>1 所蔵資料管理・提供の適正な推進 12,054千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【改】町民ワークショップを行い利用者ニーズを掘り起こし、図書館の改善を図ります。</li> <li>・所蔵資料（192千冊）を適正に分類・管理し、提供できる体制を整えます。</li> <li>・郷土文化財と図書館の資料との活用を推進するため、民俗資料館と図書館との連携を図ります。</li> <li>・本の選定・閉架・除籍を定期的に行います。</li> <li>・住民ニーズを反映しながら新規購入を進めるとともに、地域・時代にあった配架構成を図ります。</li> <li>・【新】図書館リニューアル計画策定を行い、図書館サービスの向上を図ります。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>報酬</td><td>48千円</td> <td>燃料費</td><td>12千円</td> <td>図書</td><td>5,700千円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td><td>15千円</td> <td>修繕料</td><td>377千円</td> <td>負担金</td><td>28千円</td> </tr> <tr> <td>普通旅費</td><td>275千円</td> <td>通信運搬費</td><td>15千円</td> <td>委託料</td><td>3,300千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td><td>1,771千円</td> <td>手数料</td><td>513千円</td> <td></td><td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>■目的 令和元年度に実施したワークショップでの意見や専門家の助言などを踏まえ、具体的な再生計画を住民の意見を聞きながら作成する。</p> <p>■委託金額 3,300千円</p> <p>■内容 ①ワークショップの開催支援(年6回程度) ②図書館リニューアル計画等策定支援など</p> </div> <p>2 読書週間行事等の開催による本と人がつながるきっかけづくり 519千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【改】毎週土曜日にお話会、七夕まつり、クリスマス会、春・秋の読書週間に合わせたイベント開催します。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>消耗品費</td><td>80千円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td><td>26千円</td> </tr> </table>	報酬	48千円	燃料費	12千円	図書	5,700千円	報償費	15千円	修繕料	377千円	負担金	28千円	普通旅費	275千円	通信運搬費	15千円	委託料	3,300千円	消耗品費	1,771千円	手数料	513千円			消耗品費	80千円	報償費	26千円
報酬	48千円	燃料費	12千円	図書	5,700千円																								
報償費	15千円	修繕料	377千円	負担金	28千円																								
普通旅費	275千円	通信運搬費	15千円	委託料	3,300千円																								
消耗品費	1,771千円	手数料	513千円																										
消耗品費	80千円																												
報償費	26千円																												

- ・ブックスタートによる幼児期から本に親しんでもらう機運づくりを行います。  
消耗品費 393千円
- ・古文書講座を開催し、郷土愛を育むとともに郷土資料活用を図ります。  
報償費 20千円

### 3 全町図書館サービス展開 6,005千円

- ・【改】図書ネットワークによる学校・分館等と連携し、図書サービス提供を行います。
- ・【新】まちなか図書館として、公民館などに図書箱を設置し、図書サービス提供を行います。  
燃料費 51千円 委託料 1,584千円  
消耗品費 100千円 借上料 4,197千円  
自動車保険料 73千円

#### 1 まちなか図書館とは？

- 町内の人が集まる場所や公民館、商店などに本箱を置き、その場で本を読んだり、本の貸出・返却できる。
- 本を通して、地域の人が集まり、つながる。
- 気軽に本を手にして、本の楽しさを知ってもらうことができる。

#### 2 特色

- 特色のある図書  
店や施設に相応しい本を司書が選書して設置し、貸出する。
- 本の入れ替え  
定期的を実施(1ヶ月～3ヶ月)
- 借りたい人がカードを記入し、ボックスへ入れる。(返却も同様)

#### 3 移動図書館事業の見直し

- 【現状・課題】
- まなタン号の老朽化 21年(H10.11登録)
  - 移動図書館の利用者が減少傾向にあり、また固定化している。
- 【見直し案】
- 学校やこども園  
公用車を使用し、選書した本を届ける。(月1～2回)
  - 高齢者施設(ケアハウスなど)  
まちなか図書館の設置を検討
  - 出前図書館(にこにこ食堂や各種催しに合わせて)

#### 4 令和2年度の予定

- 4月 ・設置場所の選定、管理者との協議  
>>できる場所から設置。  
・学校やこども園、利用者等との調整。
- 10月 「まちなか図書館」開始。移動図書館車の廃止

前年度からの改善点等

- 町民ワークショップや先進地視察を行い、図書館改善に取り組みます。
- 民俗資料館利用者の関心に対して図書館郷土資料コーナーでの支援を行います。
- 町民が使いやすい図書館となるために図書配架や展示の仕方を見直していきます。
- 県主催の研修への積極的参加や内部研修を行うことにより、レファレンス対応力を向上させていきます。

根拠法令等  法令(義務)  法令(任意)  条例  規則  訓令・要綱  なし  ( )

規程の名称 図書館法、琴浦町図書館条例、琴浦町図書館管理運営規則

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終 KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口○○人、外国人観光客○○人増など)					
		指標	利用者減少率が人口減少率を下回る状態の維持				
		年度	28	29	30	元	2
	年度毎 KPI	指標	H27年度来館者数 / H27人口	H28年度来館者数 / H28人口	H29年度来館者数 / H29人口	H30年度来館者数 / H30人口	R1年度来館者数 / R1人口
活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
	%	目標	3.73	4.25	4.12	3.85	3.70
		実績	4.25	4.12	3.85	3.70	2.34
		達成率	113.9%	96.9%	93.4%	96.1%	63.2%

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度	36,844	0	0	5,701	0	31,143	36,545	
令和元年度	37,068			1		37,067		
令和2年度	18,578			3,328		15,250		ふるさと未来夢基金【地域】 図書館図書購入基金
前年度増減	-18,490	0	0	3,327	0	-21,817		

#### 6 参考資料

事業の抱える問題点

# 令和 2 年度 事業説明書

## 1 基本情報

事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業		事業区分	■新規 □継続			
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係					
総合計画	基本理念	にぎわいと活力に満ちた共生のまち			基本テーマ	だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり			
地方創生 ①	基本テーマ	4	コトウラに根づく		地方創生 ②	基本テーマ			
	重点項目	2	健康寿命日本一を目指すまちづくり			重点項目			
	施策	1	健康に生きるまちづくり			施策			
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
事業期間	開始	令和2年度		終了	-		実施主体	■琴浦町 □その他	

## 2 当該年度の事業費

年度	当初 予算額 (千円)	事業費財源内訳					備考
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	
令和2年度 事業費	10,186			1,580		8,606	地域振興基金 トレーニングルーム使用料ほか
正職員人件費	4,559	前年度		正職員年間人件費		6,513	正職員 0.7
会計年度職員人件費	1,043	前年度					会計年度職員 0.9
トータルコスト	15,788	主な業務内容		体育協会、スポーツ少年団運営			

## 3 事業の概要

事業の対象 (だれに)	町民全般																																			
事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげます。</li> <li>・全国大会などで優秀な成績を収めた方を表彰して功績を讃え、今後の活力につなげます。</li> <li>・総合体育館トレーニングルームにコンディショニングコーディネーター及び町民トレーナーを配置し、運動習慣の定着につなげます。また、ウォーキングの推奨やスポーツ推進委員との連携により町民の運動習慣の定着と、介護予防及び健康寿命延伸に寄与します。</li> </ul>																																			
事業の内容 (どうやって)	<p>○スポーツ団体育成・奨励事業 6,919千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会主催事業開催を奨励</li> <li>・郡民スポレク祭・県民スポレク祭・全国大会・各種駅伝大会などに選手を派遣し、競技力の向上を図ります。</li> <li>・スポーツ少年団を通じて青少年の体力づくりと健全育成を図ります。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>報償金</td> <td>46千円</td> <td>借上料</td> <td>149千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>記念品</td> <td>36千円</td> <td>負担金</td> <td>800千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>100千円</td> <td>補助金</td> <td>体育協会 4,610千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料費</td> <td>3千円</td> <td></td> <td>スポーツ教室 270千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料</td> <td>87千円</td> <td></td> <td>スポーツ少年団 705千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保険料</td> <td>113千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○聖火リレー開催 700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック聖火リレーを開催し大会を盛り上げます。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>100千円</td> <td>負担金</td> <td>600千円</td> </tr> </table> <p><b>概要</b></p> <p>琴浦町にて開催される聖火リレー及び出発式を盛り上げ、琴浦町の機運を高めるものである。</p> <p>事業費 700,000円          開催日 2020年5月23日(土) (鳥取県開催期間は5月22日～23日の2日間)          出発式 ポート赤崎日韓友好資料館前駐車場にて開催</p>	報償費	報償金	46千円	借上料	149千円		記念品	36千円	負担金	800千円	需用費	消耗品費	100千円	補助金	体育協会 4,610千円		燃料費	3千円		スポーツ教室 270千円	役務費	手数料	87千円		スポーツ少年団 705千円		保険料	113千円			需用費	消耗品費	100千円	負担金	600千円
報償費	報償金	46千円	借上料	149千円																																
	記念品	36千円	負担金	800千円																																
需用費	消耗品費	100千円	補助金	体育協会 4,610千円																																
	燃料費	3千円		スポーツ教室 270千円																																
役務費	手数料	87千円		スポーツ少年団 705千円																																
	保険料	113千円																																		
需用費	消耗品費	100千円	負担金	600千円																																

	○総合体育館トレーニングルーム活用促進 639千円
	・コンディショニングコーディネーター及び町民トレーナーの指導により総合体育館トレーニングルームの活用促進を図ります。 報償金 280千円 費用弁償 20千円 需用費 消耗品費 50千円 印刷性本費 22千円 委託料 217千円 修繕料 50千円
	○スポーツ推進委員との連携事業 1,723千円
	・スポーツ推進委員の指導力と資質向上を図ります。 報酬 1,367千円 費用弁償 163千円 消耗品費 78千円 保険料 58千円 負担金 57千円
○その他事業 205千円	
	・ノルディック・ウォーキング教室、ガイナレホームタウンデイなどを開催します。 報償費、消耗品費、燃料費、負担金

前年度からの改善点等	一般予算で計上していた郡民スポレク祭などを、体育協会補助金に組み込み予算の効率化を図ります。
------------	--

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法令(義務) <input checked="" type="checkbox"/> 法令(任意) <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 訓令・要綱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ( )
-------	--

規程の名称	スポーツ基本法、社会教育法
-------	---------------

#### 4 事業達成度と数値目標

重要業績評価指標 KPI	最終KPI	※施策として達成すべき指標を掲げる。(人口〇〇人、外国人観光客〇〇人増など)					
	年度毎KPI	指標	総合体育館トレーニングルーム年間利用人数増				
		年度	28	29	30	元	2
	指標	6,000人	7,000人	8,000人	20,000人	25,000人	

活動目標となる数値の設定 ※KPIを達成するために事業として目標とする数値を設定する。

活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(実績)	元(現時点)
総合体育館トレーニングルーム年間利用人数増	人	目標	3,000	6,000	7,000	8,000	20,000
		実績	2,197	5,573	10,548	19,112	18,981
		達成率	73.23%	92.88%	150.69%	238.90%	

#### 5 コストの推移

年度	当初予算額(千円)	事業費財源内訳					決算額	備考
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源		
平成30年度								
令和元年度								
令和2年度	10,186			1,580		8,606		地域振興基金 トレーニングルーム使用料ほか
前年度増減								

#### 6 参考資料

事業の抱える問題点	体育協会運営について事務は総合体育館、事業は自主運営となっているが、事務を含めた自主運営化に向けた取り組みの必要があります。
-----------	--